

令和4年度

企業局の概要



宮城県企業局

表 紙

左上：麓山浄水場（加美町）（水道用水供給事業）

右上：広瀬川水管橋（仙台市）（工業用水道事業）

左下：仙台港国際ビジネスサポートセンター（仙台市）（地域整備事業）

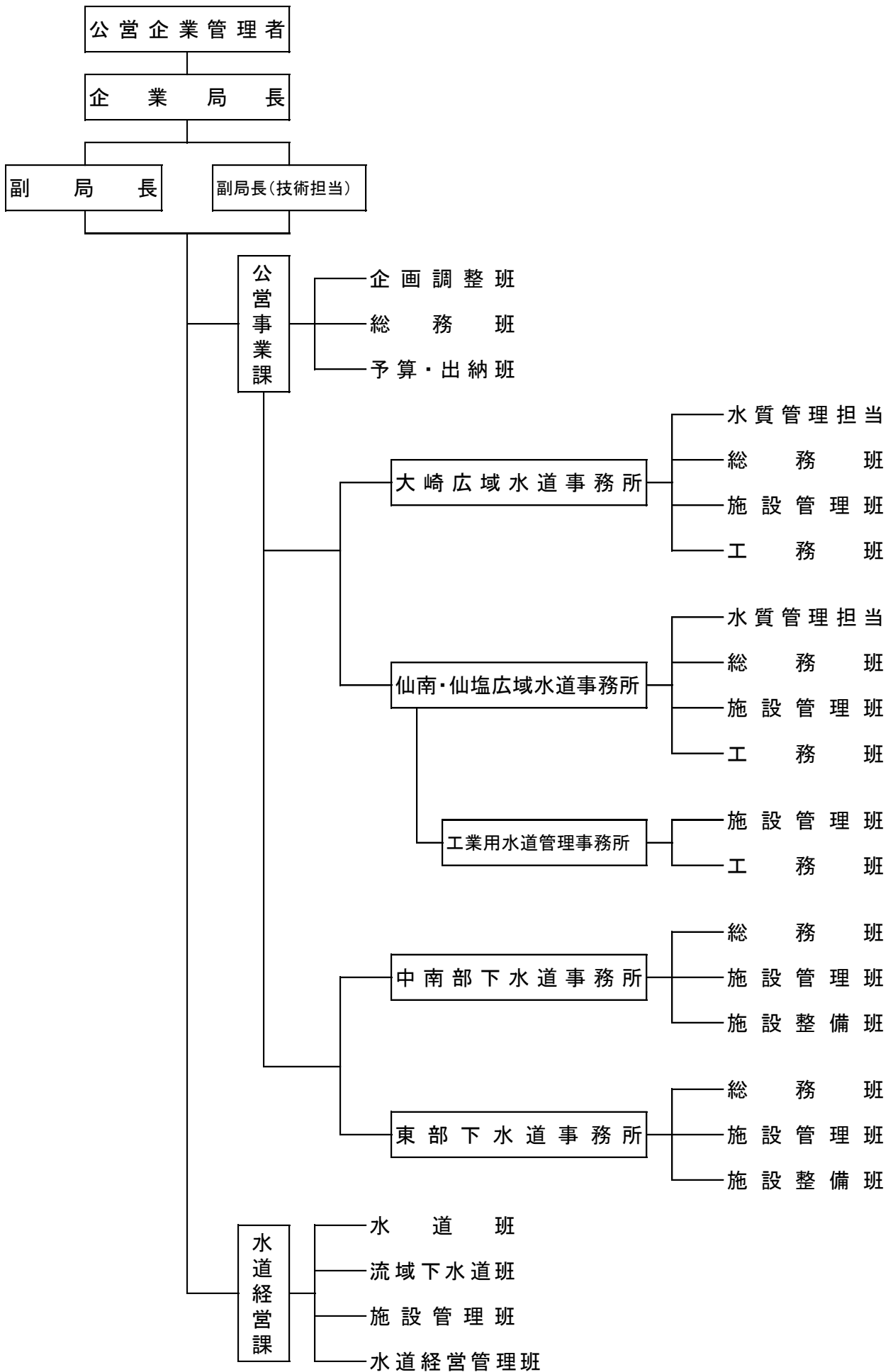
右下：石巻東部浄化センター（石巻市）（流域下水道事業）

目 次

I	企業局の組織	1
1	組織図.....	1
2	職員数一覧表.....	2
3	所在地.....	2
4	分掌事務.....	3
II	令和4年度予算の概要	4
III	事業の概要	6
1	水道用水供給事業.....	7
(1)	大崎広域水道事業.....	7
(2)	仙南・仙塩広域水道事業.....	12
2	工業用水道事業.....	20
(1)	仙塩工業用水道事業.....	20
(2)	仙台圏工業用水道事業.....	25
(3)	仙台北部工業用水道事業.....	30
3	地域整備事業.....	35
4	流域下水道事業.....	39
(1)	仙塩流域下水道事業.....	39
(2)	阿武隈川下流流域下水道事業.....	46
(3)	鳴瀬川流域下水道事業.....	52
(4)	吉田川流域下水道事業.....	58
(5)	北上川下流流域下水道事業.....	64
(6)	北上川下流東部流域下水道事業.....	70
(7)	迫川流域下水道事業.....	76

I 企業局の組織

1 組織図(令和4年4月1日現在)



2 職員数一覧

(令和4年4月1日現在)

課所名	区分	事務	技術	労務	併任	合計
公営事業課		15(一)	1(一)		[20]	16(一)
水道経営課		15(一)	11(一)			26(一)
本局計		30(一)	12(一)		[20]	42(一)
大崎広域水道事務所		4(1)	14(一)	1(一)		19(1)
仙南・仙塩広域水道事務所		6(一)	19(1)	0(1)		25(2)
中南部下水道事務所		4(一)	13(1)			17(1)
東部下水道事務所		4(一)	13(一)			17(一)
地方機関計		18(1)	59(2)	1(1)		78(4)
合計		48(1)	71(2)	1(1)	[20]	120(4)

※1 公営企業管理者を除く職員数を計上しています。副局長は公営事業課に含めています。

※2 ()内の数字は再任用職員数で、外書きで計上しています。

3 所在地

課所名	郵便番号	所在地	電話番号
(本局)			
公営事業課	〒980-8570	仙台市青葉区本町三丁目8番1号	022-211-3413
水道経営課	〃	〃	022-211-3417
(地方機関)			
大崎広域水道事務所	〒981-4354	加美郡加美町字麓山1番地の9	0229-67-6512
仙南・仙塩広域水道事務所	〒989-0232	白石市福岡長袋字南部山7番地の1号	0224-25-8890
(工業用水道管理事務所)	〒983-0835	仙台市宮城野区大槻1番6号	022-293-5101
中南部下水道事務所	〒985-0832	多賀城市大代六丁目4番1号	022-367-4001
東部下水道事務所	〒986-0861	石巻市蛇田字新ノ切5番地の2	0225-23-7381

4 分掌事務

(1) 本局

区 分	分 掌 事 務
公 営 事 業 課	1 事業の総合的企画, 調整及び管理に関すること。 2 広報及び広聴に関すること。 3 公印の管理に関すること。 4 成案文書の審査並びに文書の收受, 発送, 編纂及び保存に関すること。 5 管理規程等の制定及び改廃に関すること。 6 局の組織及び職員の定数に関すること。 7 職員の任免, 分限, 懲戒その他の身分取扱に関すること。 8 給与, 勤務時間その他の勤務条件, 研修及び福利厚生に関すること。 9 職員の表彰に関すること。 10 予算の原案の作成及び予算の執行計画に関すること。 11 事業の資金計画及び財務計画に関すること。 12 資産の取得, 管理及び処分に係る事務の総括並びに議決事件の議案に関すること。 13 決算の調製並びに業務状況及び計理状況の報告に関すること。 14 経理事務その他出納事務に関すること。 15 会計事務の指導に関すること。 16 工事の検査に関すること。 17 有価証券及び担保物の出納, 保管に関すること。 18 出納検査に関すること。 19 出納取扱金融機関及び収納取扱金融機関に関すること。 20 地域整備事業に係る経営の基本計画に関すること。 21 地域整備事業に係る施設の整備及び資産の運用に関すること。 22 地域整備事業に係る貸付に関すること。 23 地方機関に関すること。 24 その他課の分掌に属しない事務の調整に関すること。
水 道 経 営 課	1 広域水道用水供給事業の経営の基本計画に関すること。 2 広域水道用水供給事業の用水供給に関すること。 3 工業用水道事業の経営の基本計画に関すること。 4 工業用水道事業の用水供給に関すること。 5 流域下水道事業の経営の基本計画に関すること。 6 流域下水道事業の下水処理に関すること。 7 局内において施行する工事及び技術管理・指導に関すること。 8 水道経営管理に関すること。

(2) 地方機関

区 分	分 掌 事 務
大 崎 広 域 水 道 事 務 所	大崎広域水道及び仙台北部工業用水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
仙 南 ・ 仙 塩 広 域 水 道 事 務 所	仙南・仙塩広域水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
工 業 用 水 道 事 務 所	仙塩工業用水道及び仙台圏工業用水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
中 南 部 下 水 道 事 務 所	仙塩, 阿武隈川下流, 鳴瀬川及び吉田川流域下水道の下水の処理, 施設の維持管理及び工事施行並びに流域関連公共下水道の指導及び監督に関すること。
東 部 下 水 道 事 務 所	北上川下流, 北上川下流東部及び迫川流域下水道の下水の処理, 施設の維持管理及び工事施行並びに流域関連公共下水道の指導及び監督に関すること。

II 令和4年度予算の概要

1 収益的収支予算

企業局所管4事業会計の収益的収支予算のうち、収益的収入は244億3千8百余万円で前年度より59億5千百余万円の減(△19.6%)、収益的支出は233億4千百余万円で前年度より53億4千2百余万円の減(△18.6%)、収支差額は10億9千6百余万円の黒字で黒字幅は前年度より6億8百余万円の減となっています。

2 資本的収支予算

資本的収入は57億4千9百余万円で前年度より13億5百余万円の減(△18.5%)、資本的支出は118億3千百余万円で前年度より45億1千7百余万円の減(△27.6%)、収支差額は△60億8千2百余万円で、資本的収入が資本的支出に対して不足する額は前年度より32億1千百余万円の減となっています。

なお、資本的収入が資本的支出に対して不足する額60億8千2百余万円は、過年度損益勘定留保資金等で補てんすることとしています。

※ 水道用水供給事業、工業用水道事業及び4流域下水道事業(仙塩流域下水道事業、阿武隈川下流流域下水道事業、鳴瀬川流域下水道事業、吉田川流域下水道事業)において、令和4年4月から公共施設等運営権(コンセッション方式)により民間事業者が運営を行う「宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)」を導入したことにより、予算規模が縮小しています。

令和4年度 企業会計予算一覧表（当初予算）

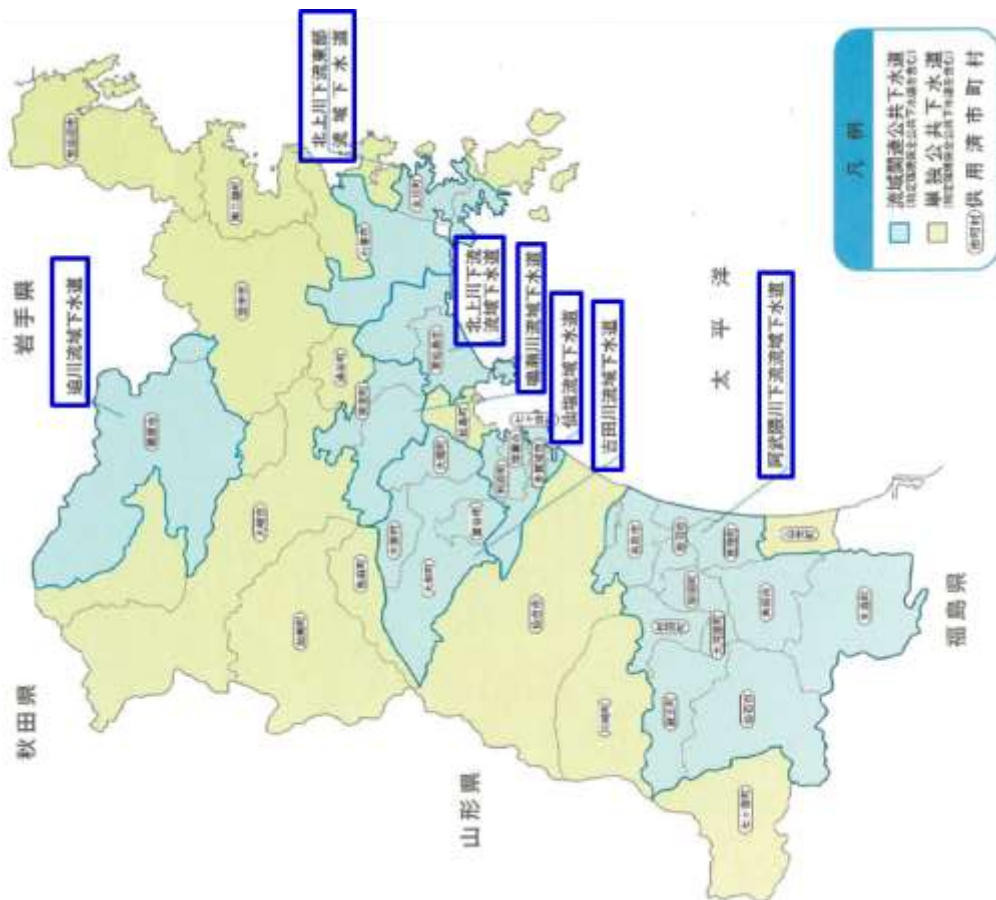
（税込、単位：千円）

	水道用水供給事業				工業用水道事業				流域下水道事業					地域整備	合計
	大崎	仙南・仙塩	仙塩	計	仙塩	仙塩	阿武隈	鳴瀬川	吉田川	北上川	北上川東部	迫川	計		
営業収益	1,504,057	7,394,610	361,778	8,898,667	424,880	409,898	501,597	68,907	152,966	559,851	540,688	330,555	2,674,622	524,269	13,294,114
料収入	1,470,080	7,374,700	359,647	8,844,780	369,689	408,398	494,597	65,907	147,966	559,851	540,688	330,555	2,651,622	475,551	13,109,687
その他	33,977	19,910	2,131	53,887	55,191	1,500	7,000	3,000	5,000	0	0	0	23,000	48,718	184,427
営業外収益	168,173	1,063,515	141,203	1,231,688	36,245	77,763	2,082,662	441,509	684,937	1,031,285	1,187,001	940,225	9,382,286	104	10,869,289
他会計補助金	0	891	0	891	0	0	359,089	110,022	172,199	454,681	321,621	353,659	2,193,664	0	2,194,555
その他	168,173	1,062,624	141,203	1,230,797	36,245	77,763	1,723,573	331,487	512,738	576,604	865,380	586,566	7,188,622	104	8,674,734
特別利益	2,595	977	3,572	3,572	16,127	2,029	44,845	24,972	26,645	23,144	32,244	30,380	253,075	0	274,803
計(A)	1,674,825	8,459,102	502,981	10,133,927	477,252	489,690	2,629,104	535,388	864,548	1,614,280	1,759,933	1,301,160	12,309,983	524,373	24,438,206
営業費用	1,864,464	7,469,107	495,563	9,333,571	358,040	426,155	2,068,270	449,520	640,931	1,292,349	1,612,448	993,231	10,147,115	291,043	21,051,487
営業外費用	239,836	987,965	45,916	1,227,801	48,302	42,622	97,756	37,726	38,736	70,004	71,417	57,749	485,012	3,546	1,853,199
特別損失	50,171	15,098	0	65,269	16,374	4,289	59,745	33,272	35,445	30,844	42,944	40,480	337,175	0	423,107
予備費	1,500	6,000	500	7,500	500	300	1,100	1,100	400	300	300	200	5,100	0	13,900
計(B)	2,155,971	8,478,170	541,979	10,634,141	423,216	473,366	2,226,871	521,618	715,512	1,393,497	1,727,109	1,091,660	10,974,402	294,589	23,341,693
差引当年度損益(A)-(B)	△481,146	△19,068	△38,998	△500,214	54,036	16,324	402,233	307,435	13,770	220,783	32,824	209,500	1,335,581	229,784	1,096,513
企業債	0	0	0	0	0	0	221,600	376,200	23,200	115,300	148,300	66,200	1,065,800	0	1,065,800
国庫補助金	0	0	0	0	0	0	424,936	638,416	48,829	75,388	271,381	73,804	1,755,982	0	1,755,982
出資金	96,041	0	0	96,041	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	96,041
他会計長期借入金	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	700,000	0	700,000
工事負担金	20,517	0	0	20,517	215,512	20,517	175,842	315,841	85,580	29,279	106,905	38,793	1,080,166	0	1,336,712
固定資産売却代金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計補助金	96,041	0	0	96,041	0	0	43	143	82	81	107	94	692	0	96,733
他会計貸付金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	698,000
計(C)	212,599	0	0	212,599	215,512	20,517	922,421	1,430,600	500,097	319,748	626,693	278,891	4,602,640	698,000	5,749,268
建設改良費	442,913	625,617	184,032	1,068,530	344,081	58,429	776,621	1,270,100	396,997	135,652	485,468	153,127	3,612,355	0	5,267,427
企業債償還金	531,224	2,607,350	80,555	3,138,574	20,903	0	101,458	320,066	73,638	383,276	250,779	294,127	1,709,811	0	4,949,843
長期貸付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	700,000
国庫補助金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長期借入金償還金	0	0	0	0	27,213	134,577	62,000	207,000	50,000	50,000	229,000	50,000	698,000	0	914,689
計(D)	974,137	3,232,967	319,486	4,207,104	392,197	193,006	1,087,833	1,797,166	520,635	583,103	965,247	497,254	6,020,166	700,000	11,831,959
差引累積財源(C)-(D)	△761,538	△3,232,967	△319,486	△3,994,505	△176,685	△172,489	△165,412	△366,566	△20,538	△58,913	△338,554	△218,363	△1,417,526	△2,000	△6,082,691

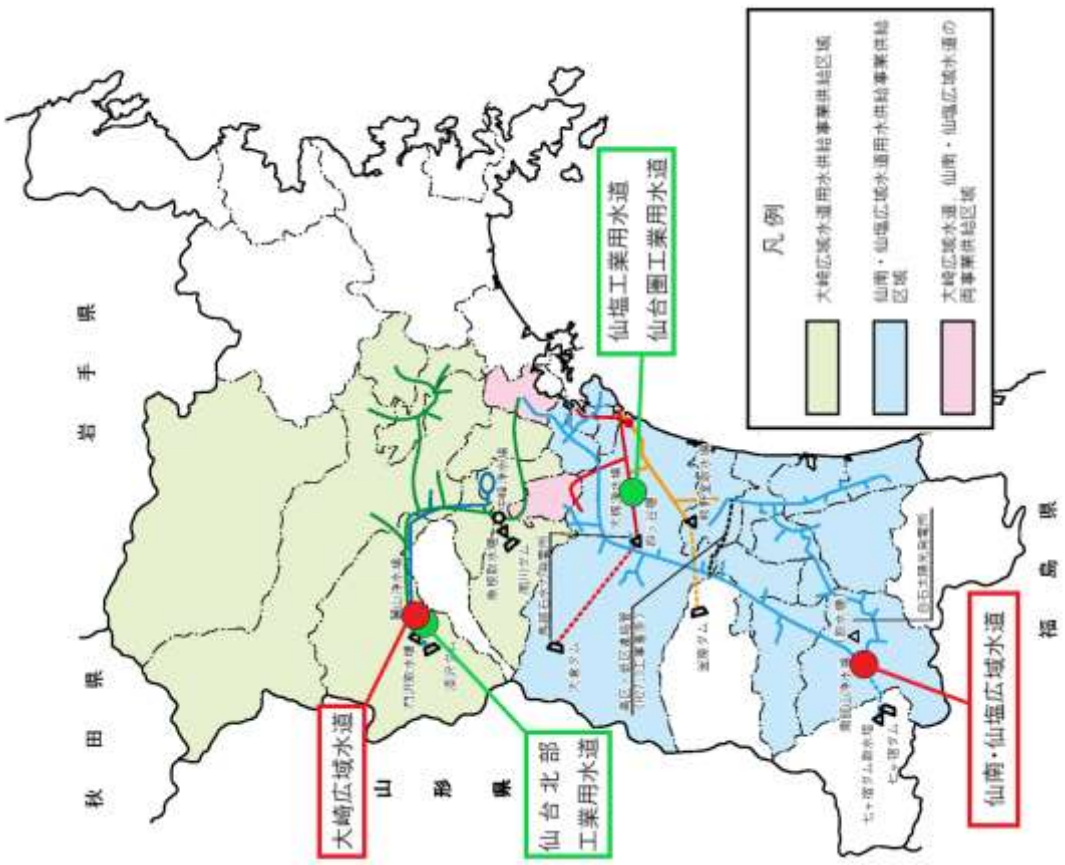
III 事業の概要

企業局事業概要図

流域下水道事業



水道用水供給事業・工業用水道事業



1 水道用水供給事業

本県が実施する水道用水供給事業は、主に大崎地方を中心とする地域の水道用水の需要に対応するため建設された「大崎広域水道」と仙南及び仙塩地域の水道用水の需要に対応するため建設された「仙南・仙塩広域水道」があります。

なお、両水道用水供給事業においては、水道事業を取り巻く厳しい経営状況を改善するため、令和4年4月から公共施設等運営権（コンセッション）方式により、民間事業者が運営を行う「宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）」を実施しています。

(1) 大崎広域水道事業

① 事業の概要

本事業は、漆沢ダム及び南川ダムを水源とする2系統の浄水場から、大崎地方を中心とする10市町村に対し、一日最大120,000 m³の水道用水を供給するものです。

昭和48年度から建設工事に着手した漆沢ダム系については、昭和55年度から給水を開始し、現在は、一日最大82,300 m³の給水が可能となっています。

また、昭和58年度から建設工事に着工した南川ダム系については、平成6年度に第一期工事が完成（平成7年度から給水開始）し、現在は、一日最大18,850 m³の給水が可能となっています。

● 令和4年度の業務予定量

給水市町村数	3市6町1村
年間総給水量	21,608,720 m ³
一日平均給水量	59,202 m ³

● 計画取水量と計画給水量(一日最大)

	計画取水量	計画給水量	取水
漆沢ダム水系	88,500 m ³	82,300 m ³	鳴瀬川表流水(漆沢ダム)
南川ダム水系	40,000 m ³	37,700 m ³	吉田川表流水(南川ダム)
計	128,500 m ³	120,000 m ³	

● 受水市町村及び給水量(最終給水量) (単位：m³/日)

市町村名	給水量	市町村名	給水量
大崎市	46,300	大和町	23,500
栗原市	3,400	大郷町	3,000
富谷市	9,900	松島町	4,000
加美町	7,000	大衡村	6,500
涌谷町	8,800	計	120,000
美里町	7,600		

● 給水計画

漆沢系	昭和55年4月(給水開始)	41,150 m ³ /日
	昭和58年4月	82,300 m ³ /日
南川系	平成7年4月(給水開始)	18,850 m ³ /日
	水需要により対応	18,850 m ³ /日

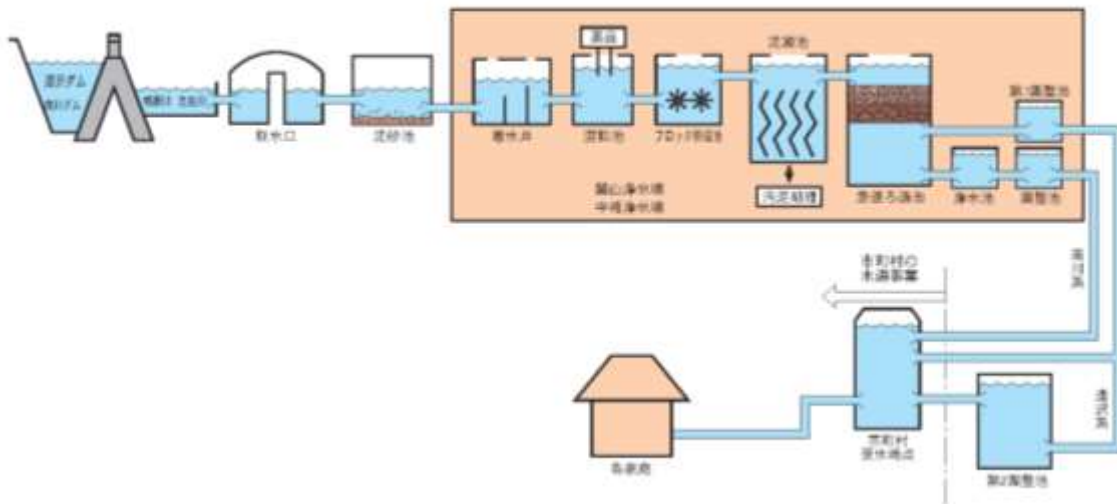
● 計画目標年次 未定

● 計画給水人口 318千人

● 工 期

漆 沢 系	第一期工事	昭和 48 年度～昭和 54 年度
	第二期工事	昭和 55 年度～昭和 57 年度
南 川 系	第一期工事	昭和 58 年度～平成 6 年度
	第二期工事	水需要により対応

■ 大崎広域水道事業のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分		全 体 計 画	漆沢系と南川系第一期工事 まで	南川系第二期工事以降
貯水施設 (ダム負担金)	漆沢系	2,413,440	2,413,440	
	南川系	4,344,090	4,344,090	
	計	6,757,530	6,757,530	
広域化施設	漆沢系	20,258,770	19,864,834	393,936
	南川系	12,986,805	11,957,045	1,029,760
	計	33,245,575	31,821,879	1,423,696
建設利息		18,920,581	17,159,395	1,761,186
合 計		58,923,686	55,738,804	3,184,882
財 源 内 訳	国庫補助金	12,123,336	11,668,895	454,441
	企業債	42,580,000	40,349,000	2,231,000
	出資金	3,806,000	3,308,000	498,000
	その他	414,350	412,909	1,441
	合 計	58,923,686	55,738,804	3,184,882

● ダム建設費等負担割合

〔 漆沢ダム 工期 昭和 43～55 年度 事業費 166.5 億円 〕
〔 南川ダム 工期 昭和 48～62 年度 事業費 210.0 億円 〕

(単位：%)

区 分	漆 沢 ダ ム		南 川 ダ ム	
	建 設 費	管 理 費	建 設 費	管 理 費
上 水 道	14.5	14.0	20.7	20.7
上 水 道 (松 島 町)	0.2	0.2	-	-
工 業 用 水	11	10.7	-	-
公 共 電	74.1	71.8	79.3	79.3
発 電	0.2	3.3	-	-
計	100.0	100.0	100.0	100.0

③ 施設の概要

系統別 施設区分	漆沢系	南川系
貯水施設	漆沢ダム[宮城県] 目的 洪水調節, 流水の正常な機能維持, 発電 型式 中央コア型ロックフィルダム 湛水面積 0.83 km ² 総貯水量 18,000,000 m ³ 本事業取水分 上水道 88,500 m ³ /日 工業用水 60,000 m ³ /日	南川ダム[宮城県] 目的 洪水調節, 流水の正常な機能維持 型式 重力式コンクリートダム 湛水面積 0.9 km ² 総貯水量 10,000,000 m ³ 本事業取水分 上水道 40,000 m ³ /日
取水施設	取水堰 L=40.0m H=3.3m 固定部 L=30.0m 可動部 L=3.0m×2門 取水口 2門 土砂吐ゲート, 管理橋 管理室, 電気計装設備一式	取水堰[可動堰] L=20.0m L=2.1m 洪水吐ゲート1門, 水位調節ゲート2門 水道用取水ゲート2門 管理橋, 電気計装設備一式
導水施設	導水トンネル等 2坑 L=4,313m 沈砂池 2池 導水管 φ900mm～φ1,350mm L=4,345m 水管橋 2橋 L=151m 管理室, 電気計装設備一式	沈砂池 2池 ポンプ井 1井 立軸斜流ポンプ 3台(4台) 導水管 φ700mm L=1,758m ポンプ棟, 動力・電気計装設備一式 管理棟, 活性炭注入設備 水管橋 1橋
浄水施設	着水井 1井 活性炭接触池 1池 混和池 2池 フロック形成池 4池 薬品沈殿池 4池 急速ろ過池 8池 第一調整池 RC造 2池 管理本館 RC造 地下1階, 地上3階建 延床面積 3,646 m ² 薬品注入設備一式 外 排水処理施設一式 外	着水井 1井 混和池 2池 フロック形成池 2池 薬品沈殿池 2池 急速ろ過池 4池(6池) 浄水池 RC造 2池 調整池 1池 管理棟 RC造 地下1階, 地上2階建 薬品注入設備一式 外 排水処理施設一式 外
送水施設	第二調整池 PC造 1池 送水管敷設 φ100mm～φ1,350mm L=99,806m 増圧ポンプ設備 水管橋 17橋[うち添架2] 電気設備, 遠方監視制御設備 テレメータ室 外	送水管敷設 φ200mm～φ600mm L=25,871m 水管橋 8橋[うち添架1] 電気設備, 遠方監視制御設備 テレメータ室 外

() 内は最終事業計画

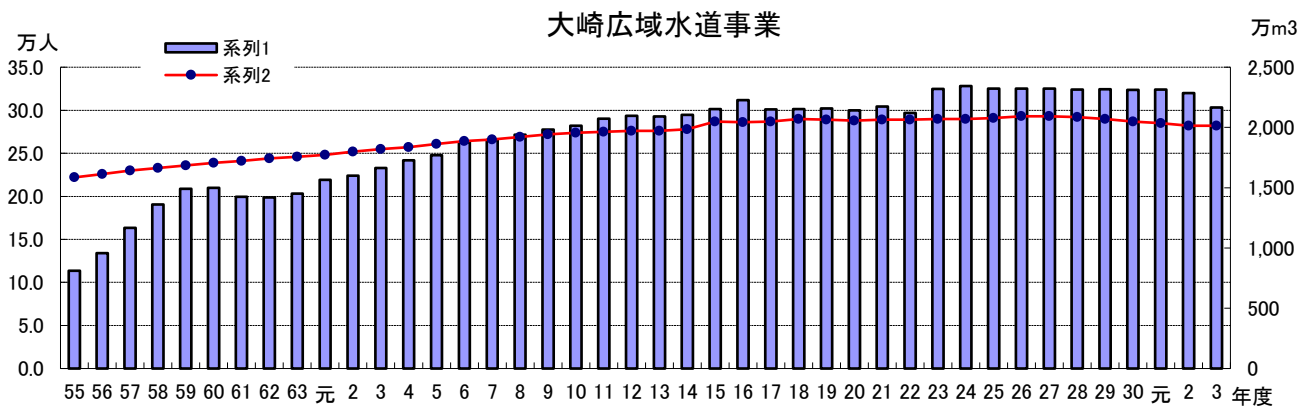
④ 経営の状況

● 給水量等

年 度		H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
A	施設能力 m ³ /日	101,150	101,150	101,150	101,150	101,150
B	契約水量 m ³ /日	75,300	75,300	74,150	74,150	74,000
C	責任水量 m ³ /日	60,240	60,240	59,320	59,320	59,200
D	取水水量 m ³ /年	24,564,866	24,659,383	24,752,254	—	—
E	給水量 m ³ /年	23,120,128	23,147,426	22,895,658	21,651,800	21,608,720
F	1日平均給水量 m ³	63,343	63,244	62,728	59,320	59,202
G	1日最大給水量 m ³	(8/3)69,659	(8/7)72,310	(1/14)71,119	—	—
H	有効水量 m ³ /年	23,115,468	23,147,326	22,869,287	—	—
I	1日平均有効水量 m ³	63,330	63,224	62,656	—	—
J	無効水量 m ³ /年	4,660	100	26,371	—	—
K	有収水量 m ³ /年	23,114,812	23,140,706	22,867,032	21,651,800	21,608,720
L	1日平均有収水量 m ³	63,328	63,226	62,649	59,320	59,202
M	動力費 千円	65,292	63,291	60,707	75,326	15,817
N	薬品費 千円	45,589	53,173	45,971	58,901	75
O	資本費 千円	1,411,154	1,373,664	1,370,549	1,393,730	1,347,969

※ 消費税含まず。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。R4からみやぎ型管理運営方式導入。

■ 給水人口及び給水量（有収水量）の推移（各年度3月末日現在）



※ S55～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベースで作成。

● 料金等

* = (料金収入+みやぎ型管理運営方式運営権者収受額)/有収水量

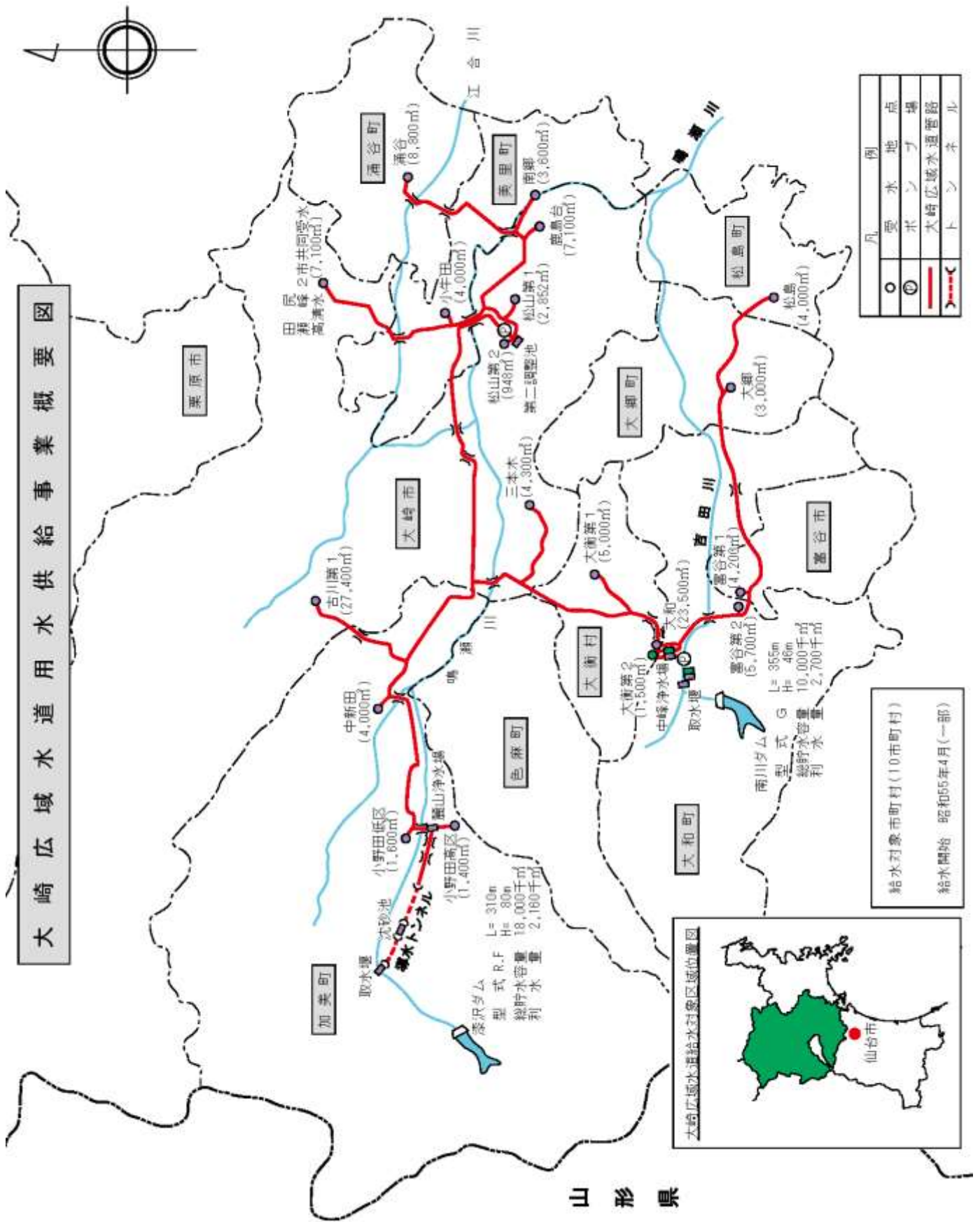
年 度		H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
基本料金	円/m ³ /月	950.00		496.00		
使用料金	円/m ³	67.00		91.00		
供給単価 (V/K)	円/m ³	126.24	126.14	121.97	123.99	61.85 *124.05
給水原価 (W/K)	円/m ³	107.31	103.74	109.73	126.89	95.10
資本費 (O/K)	円/m ³	61.05	59.36	59.94	64.37	62.38

※ 消費税含まず。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。R4からみやぎ型管理運営方式導入。

● 収支状況

年 度		H 30	R 元	R 2	R 3	R 4	
収入	営業収益(除受託)	千円	2,922,290	2,922,254	2,791,971	2,687,518	1,345,424
	Vうち料金収入	千円	2,917,978	2,918,875	2,789,163	2,684,553	1,336,436
	営業外収益	千円	173,960	172,975	174,124	194,561	168,162
	特別利益	千円	57,450	25,323	36,050	—	2,359
	計(除受託)	千円	3,153,700	3,120,552	3,002,145	2,882,079	1,515,945
支出	営業費用	千円	2,399,250	2,384,911	2,439,095	2,526,586	1,837,611
	営業外費用	千円	98,044	85,002	74,256	279,752	239,836
	特別損失	千円	3,836	126,215	75,576	82,740	46,303
	W経常費用(除受託)	千円	2,480,518	2,400,679	2,509,239	2,747,474	2,054,911
	計(除受託)	千円	2,484,354	2,526,893	2,584,816	2,830,214	2,101,214
当年度純利益(除受託)	千円	669,346	593,659	417,329	51,865	▲585,269	

※ 消費税含まず。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。R4からみやぎ型管理運営方式導入。



(2) 仙南・仙塩広域水道事業

① 事業の概要

本事業は、七ヶ宿ダムを水源とし、仙南及び仙塩地域の 17 市町に対して一日最大 553,300 m³の水道用水を供給するものです。

昭和 52 年度から建設工事に着手し、平成元年度までに一日最大 150,000 m³の取水に対応する第一期工事が完了。平成 2 年度からは一部 (15 市町) 給水を開始し、平成 4 年度からは 17 市町全てに給水しています。

また、平成 2 年度から着手した第二期工事が平成 5 年度に完了し、平成 6 年 4 月からはダム取水系の計画給水量である一日最大 279,000 m³の給水が可能となっています。

● 令和 4 年度の業務予定量

給水市町村数	8 市 9 町
年間総給水量	64,562,640 m ³
一日平均給水量	176,884 m ³

● 計画取水量と計画給水量(一日最大)

	計 画 取 水 量	計 画 給 水 量	取 水
ダ ム 取 水	300,000 m ³	279,000 m ³	七ヶ宿ダム直接
河道取水(白石川)	295,000 m ³	274,300 m ³	白 石 川 表 流 水
計	595,000 m ³	553,300 m ³	

● 受水市町村及び給水量(最終給水量)

(単位: m³/日)

市 町 名	給 水 量	市 町 名	給 水 量
白 石 市	24,700	仙 台 市	331,900
角 田 市	21,200	塩 竈 市	11,500
岩 沼 市	21,800	名 取 市	20,700
蔵 王 町	4,500	多 賀 城 市	21,000
大 河 原 町	8,200	富 谷 市	11,500
村 田 町	7,400	松 島 町	5,700
柴 田 町	20,300	七ヶ 浜 町	10,900
亘 理 町	14,300	利 府 町	12,200
山 元 町	5,500		
仙 南 計	127,900	仙 塩 計	425,400
		合 計	553,300

● 給 水 計 画

ダム取水	平成 2 年 4 月 (一部給水開始)	139,500 m ³ /日
	平成 6 年 4 月	279,000 m ³ /日
河道取水	水需要により対応(第三期工事)	139,500 m ³ /日
	水需要により対応(第四期工事)	134,800 m ³ /日

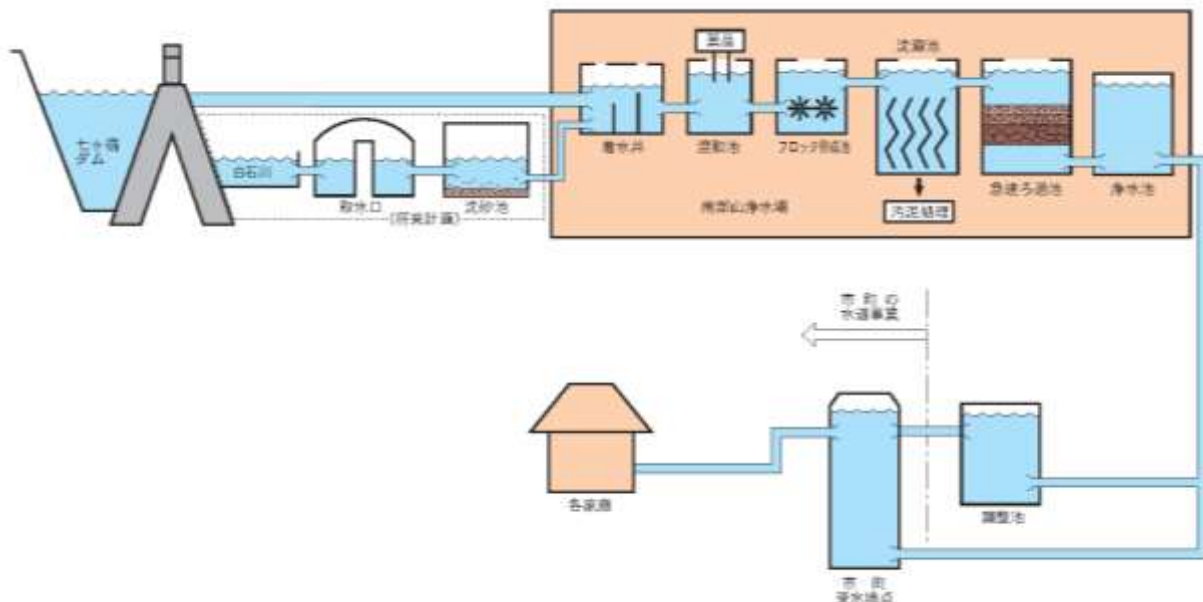
● 計画目標年次 未定

● 計画給水人口 1,931 千人

● 工 期

第一期工事(ダム系)	昭和 52 年度～平成元年度
第二期工事(ダム系)	平成 2 年度～平成 5 年
第三期工事(河道系)	水需要により対応
第四期工事(河道系)	水需要により対応

■ 仙南・仙塩広域水道用水供給事業のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分	全体計画	第二期工事まで	第三期工事以降	
貯水施設(ダム負担金)	60,387,962	60,387,962		
広域化施設	第一期工事	113,627,437		
	第二期工事	4,422,187		
	第三期工事	16,897,601	14,918,831	
	第四期工事	5,188,743	5,188,743	
	計	140,135,968	120,028,394	20,107,574
建設利息等	110,395,811	108,002,546	2,393,265	
合 計	310,919,741	288,418,902	22,500,839	
財源内訳	国庫補助金	66,404,061	59,836,615	6,567,446
	企業債	212,865,000	203,640,000	9,225,000
	出資金	31,427,000	24,721,000	6,706,000
	その他	223,680	221,287	2,393
	合 計	310,919,741	288,418,902	22,500,839

● 七ヶ宿ダム建設負担割合(工期 昭和 48～平成 3 年度 事業費 1,266.8 億円)

(単位：%)

区 分	建設費	管理費
上 水 道	47.7	47.7
工 業 用 水	4.5	4.5
公 共	47.8	47.8
計	100.0	100.0

③ 施設の概要

施設区分	概要	
貯水施設	七ヶ宿ダム[国土交通省] 目 的 洪水調節, 流水の正常な機能維持, 都市用水, 河川維持 型 式 中央コア型ロックフィルダム 湛 水 面 積 4.1 km ² 総 貯 水 量 109,000,000 m ³ 本事業取水分 595,000 m ³ /日	
取水施設	ダム直接取水	河道取水
	取水塔 独立型シリンダーゲート式 H=48.5m シリンダー直径=1.2~2.2m 取水管 φ=1,200mm 管理橋 W=2.0m L=68.0m 取水管路 φ=1,200mm L=815m	可動堰 堰全長 80.5m 堰 高 3.6m 可動堰 3 スパン 取水管 φ=1,800mm L=825m 取水口 RC造 沈砂池 RC造 4池
導水施設	導水トンネル R=0.9 幌形[φ1,800mm] L=11,135m 水管橋 3橋 水路橋 1橋 総延長 11,703m	導水管 φ1,500mm L=2,400m ポンプ 横軸両吸込渦巻ポンプ 2,200KW 5台 ポンプ棟 電気計装設備一式
浄水施設	着水井 1井(2井) 薬品混和池 2池(4池) フロック形成池 4池(8池) 傾斜板式横流沈殿池 4池(8池) 重力式急速ろ過池 20池(40池) 管理本館 RC造 地下1階, 地上3階建 延床面積 5,326 m ² 塩素混和池 2池 浄水池 2池	
送水施設	高区系[4市5町]	低区系[4市4町]
	調整池 RC造 2池 送水管 φ2,400mm~φ150mm L=123,409m 水管橋 24橋 電気設備, 遠方監視制御設備 テレメータ室 外	調整池 RC造 2池 送水管 φ1,200mm~φ150mm L=77,060m 水管橋 13橋 電気設備, 遠方監視制御設備 テレメータ室 外

() 内は最終事業計画

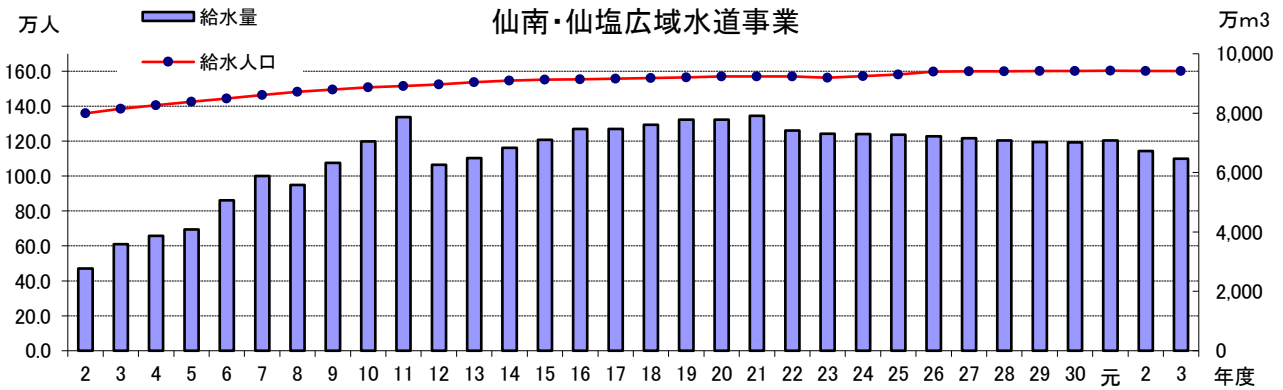
④ 経営の状況

● 給水量等

年 度		H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
A	施設能力 m ³ /日	279,000	279,000	279,000	279,000	279,000
B	契約水量 m ³ /日	234,200	233,000	221,900	221,400	221,100
C	責任水量 m ³ /日	187,360	186,400	177,520	177,120	176,880
D	取水量 m ³ /年	73,389,660	73,106,470	68,952,390	—	—
E	給水量 m ³ /年	70,183,766	70,813,162	67,203,348	64,651,200	64,562,640
F	1日平均給水量 m ³	192,284	193,479	184,119	177,127	176,884
G	1日最大給水量 m ³	(1/24)212,420	(12/25)260,887	(2/17)224,255	—	—
H	有効水量 m ³ /年	70,183,766	70,813,162	67,203,318	—	—
I	1日平均有効水量 m ³	192,284	193,479	184,119	—	—
J	無効水量 m ³ /年	0	0	30	—	—
K	有収水量 m ³ /年	70,164,970	70,801,479	67,200,814	64,651,200	64,562,640
L	1日平均有収水量 m ³	192,233	193,447	184,112	177,127	176,884
M	動力費 千円	48,210	47,419	43,551	52,152	19,739
N	薬品費 千円	55,629	60,289	67,651	65,641	48
O	資本費 千円	6,388,868	6,327,364	6,150,465	6,039,639	6,123,639

※ 消費税含まず。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。R4からみやぎ型管理運営方式導入。

■ 給水人口及び給水量（有収水量）の推移（各年度3月末日現在）



※ H2～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベースで作成

● 料金等

* = (料金収入+みやぎ型管理運営方式運営権者収受額)/有収水量

年 度		H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
基本料金	円/m ³ /月	1,050.00		817.00		
使用料金	円/m ³	54.00		42.00		
供給単価(V/K)	円/m ³	153.65	153.04	123.13	125.90	103.84 *126.02
給水原価(W/K)	円/m ³	116.13	112.46	117.58	137.82	129.52
資本費(O/K)	円/m ³	91.05	89.37	91.52	93.42	94.85

※ 消費税含まず。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。R4からみやぎ型管理運営方式導入。

● 収支状況

年 度		H 30	R 元	R 2	R 3	R 4	
収入	営業収益(除受託)	千円	10,781,607	10,835,661	8,274,287	8,139,902	6,719,772
	Vうち料金収入	千円	10,780,975	10,835,661	8,274,287	8,139,902	6,704,272
	営業外収益	千円	1,078,651	1,066,284	1,076,961	1,099,289	1,062,434
	特別利益	千円	147,984	82,458	113,685	37,990	888
	計(除受託)	千円	12,008,242	11,984,404	9,464,933	9,277,181	7,783,094
支出	営業費用	千円	7,581,123	7,453,721	7,485,889	7,807,573	7,378,187
	営業外費用	千円	631,103	535,892	449,934	1,133,089	987,884
	特別損失	千円	166,675	175,171	319,227	225,736	14,381
	W經常費用(除受託)	千円	8,148,219	7,962,120	7,901,795	8,910,267	8,362,062
	計(除受託)	千円	8,314,894	8,137,291	8,221,022	9,136,003	8,376,443
当年度純利益(除受託)	千円	3,693,348	3,847,113	1,243,910	141,178	▲593,349	

※ 消費税含まず。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。R4からみやぎ型管理運営方式導入。



⑤ 再生可能エネルギーの導入

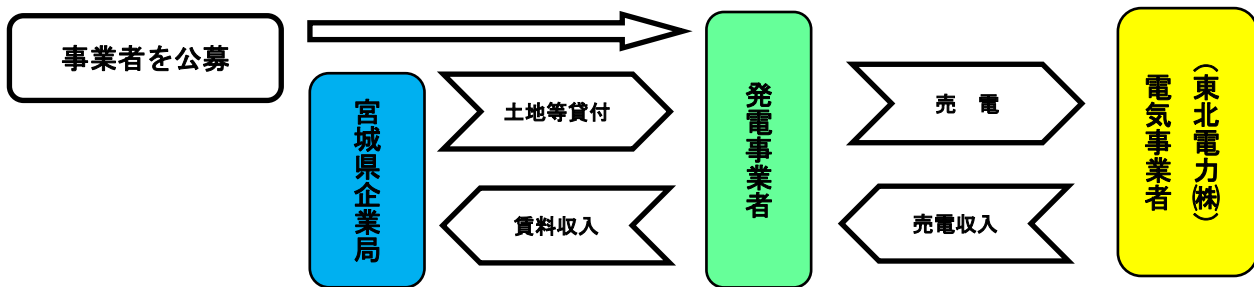
● 事業の概要

本県では、平成 24 年 6 月に「※みやぎ再生可能エネルギー導入推進指針」を策定し、東日本大震災からの復興に向け、再生可能エネルギーを活用した施策を実施し、「環境と経済の両立する宮城の実現」を目指すこととしています。

この推進プロジェクトの一つとして、「再生可能エネルギー大規模導入プロジェクト」を掲げており、企業局では、県有地や水道施設において民間活力を活用した太陽光発電及び省水力発電事業を実施し、再生可能エネルギー導入の推進を図っています。

※平成 26 年 3 月「自然エネルギー等の導入促進及び省エネルギーの促進に関する基本的な計画」に統合

● 事業のスキーム



● 白石太陽光発電所

- ・事業主体 東北自然エネルギー(株)
- ・土地概要 面積 16,887 m² 河道系沈砂池用地 (白石市福岡)
- ・発電出力 1,145kW
- ・発電電力量 123 万 kWh/年 (一般家庭約 350 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料 4,086,654 円
- ・事業費 約 3 億 5,000 万円
- ・太陽光パネル 6,940 枚
- ・工事着工 平成 25 年 7 月 9 日
- ・運転開始 平成 25 年 12 月 18 日

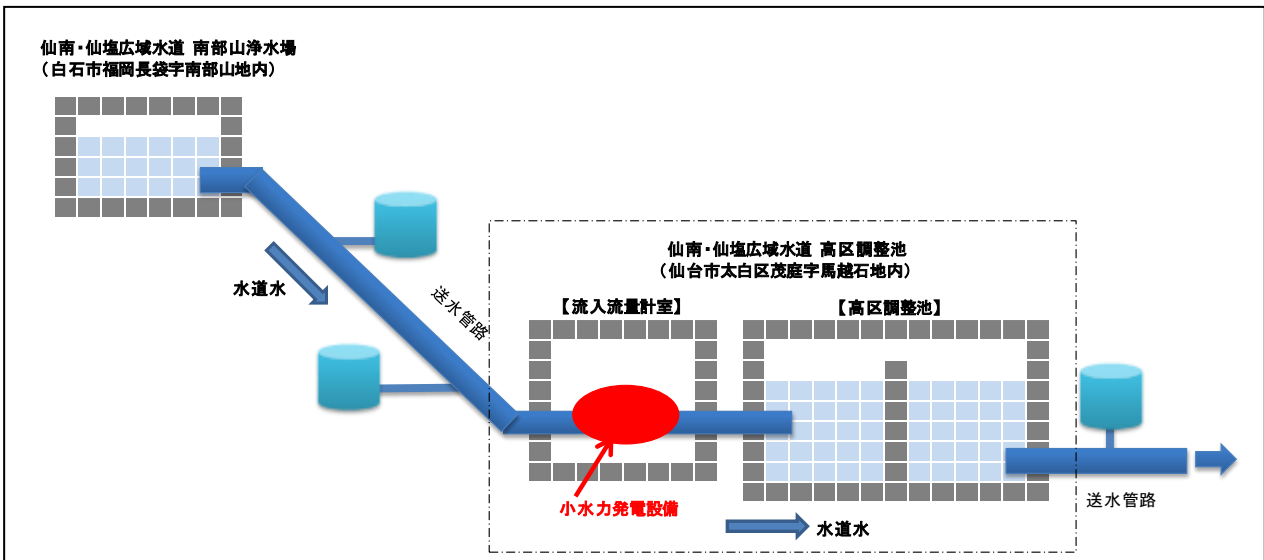


施工前

施工後

● 馬越石水力発電所

- ・事業主体 (株)アクアパワー東北
 - 【構成企業】東北発電工業(株), アジア航測(株),
 - 東北自然エネルギー(株), 日本小水力発電(株)
- ・事業場所 仙南・仙塩広域水道 高区調整池 (仙台市太白区茂庭)
- ・発電出力 250kW
- ・発電電力量 186 万 kWh/年 (一般家庭約 550 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料, 施設利用料 約 380 万円 (過去 3 か年平均)
- ・事業費 約 2 億 5,000 万円
- ・年間売電 約 5,400 万円 (186 万×29 円=5,394 万円)
- ・使用水量 平均水量: 0.89m³/s (約 76,800m³/日) (年平均)
最大水量: 1.25m³/s (約 108,000m³/日)
- ・有効落差 最大 25.80m
- ・総落差 28.10m (南部山浄水場浄水池 200.10m, 高区調整池 172.00m)
- ・工事着工 平成 26 年 1 月 24 日
- ・運転開始 平成 26 年 8 月 1 日



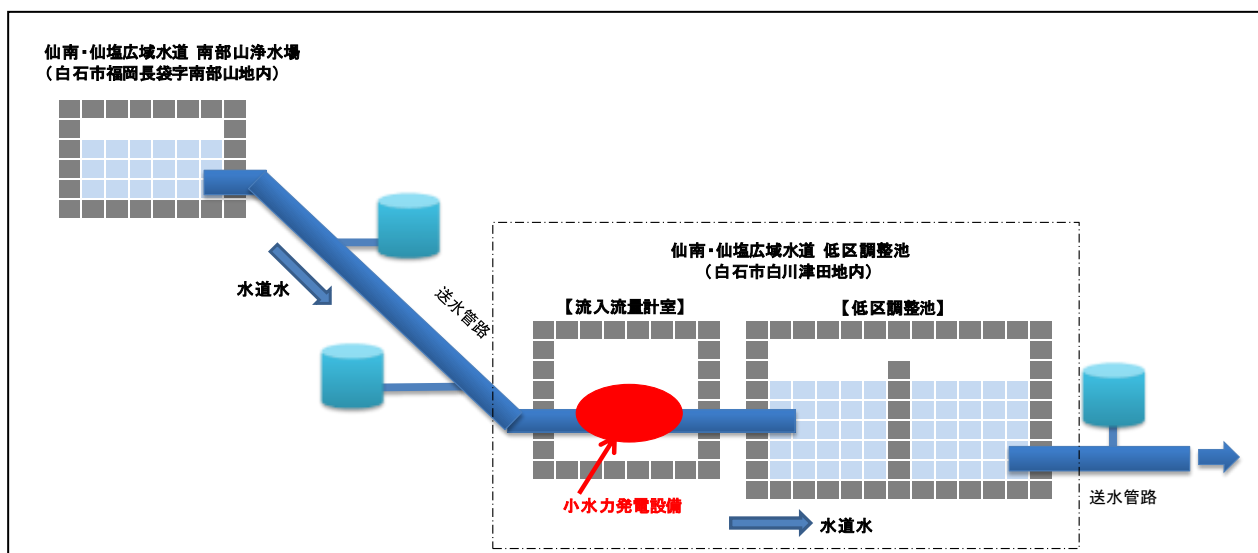
施工前



施工後

● 宮城県白石発電所

- ・事業主体 三峰川電力(株)
- ・事業場所 仙南・仙塩広域水道 低区調整池 (白石市白川津田)
- ・発電出力 90kW
- ・発電電力量 66 万 kWh/年 (一般家庭約 200 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料, 施設利用料 約 180 万円 (過去 3 か年平均)
- ・事業費 約 1 億 500 万円
- ・年間売電 約 2,200 万円 (66 万×34 円=2,244 万円)
- ・使用水量 平均水量: 0.44m³/s (約 38,000m³/日) (年平均)
最大水量: 0.48m³/s (約 41,000m³/日)
- ・有効落差 最大 27.90m
- ・総落差 34.10m (南部山浄水場浄水池 200.10m, 低区調整池 166.00m)
- ・工事着工 平成 29 年 11 月 28 日
- ・運転開始 平成 30 年 4 月 9 日



2 工業用水道事業

本県が実施する工業用水道は、仙塩地域工業開発の基盤整備の一環として建設した「仙塩工業用水道」、主として新産業都市 仙台湾地区 の拠点となる仙台港背後地の工業開発のために建設した「仙台圏工業用水道」、それに本県の内陸工業開発最大のプロジェクトとして建設された仙台北部中核工業団地等の内陸型工業団地へ供給するための「仙台北部工業用水道」があります。

なお、3 工業用水道事業においては、水道事業を取り巻く厳しい経営状況を改善するため、令和 4 年 4 月から公共施設等運営権（コンセッション）方式により、民間事業者が運営を行う「宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）」を実施しています。

(1) 仙塩工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は仙塩特定地域総合開発計画の一環として、昭和 32 年度から昭和 38 年度までの 7 年間で建設されたもので、昭和 36 年 11 月から仙塩地区へ給水を開始しており、給水能力は一日最大 100,000 m³です。

昭和 39 年、仙塩地区を含む仙台湾地区が新産業都市に指定され、昭和 46 年の仙台港の開港等により工業導入も急速に進展し、本工業用水道はそれら地域開発に大きく寄与してきました。

また、地盤沈下現象が顕著である仙台市苦竹地区等においては、地下水に代わる水源としての大きな役割を果たしています。

本工業用水道は建設後相当の期間が経過し、配水管等施設の老朽化が著しくなったことから、昭和 49 年度から昭和 63 年度までの 15 年間で改築工事を実施しています。また、平成元年度から建設を進めてきた仙台市泉地区及び富谷市成田地区への給水区域の拡張工事は平成 5 年度に終了し、平成 6 年 4 月 1 日より給水を開始しています。

● 令和 4 年度の業務予定量（4 月 1 日現在）

給水事業所数	42 社
年間総給水量	10,103,200 m ³
一日平均給水量	27,680 m ³

● 水 源

一級河川名取川水系大倉川（大倉ダム）

● 取 水

広瀬川四ツ谷堰(仙台市青葉区折立郷六)大倉ダム放流水 一日最大 100,000 m³

● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 100,000 m ³	
水 質 等	濁 度	10 度以下
	水素イオン濃度	PH6.0~8.0

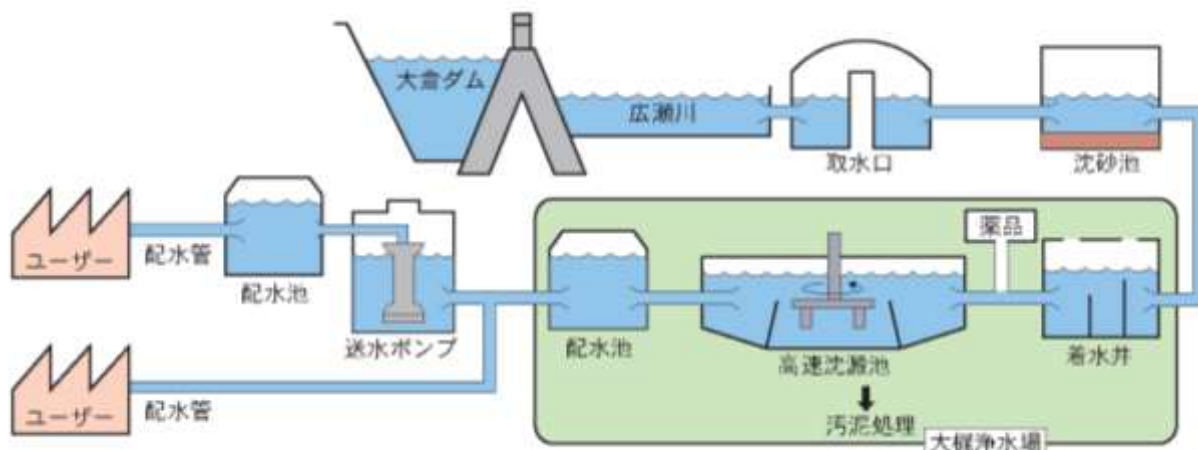
● 給水区域

仙台市、塩竈市、多賀城市、富谷市、七ヶ浜町、利府町、大和町

● 工期及び給水開始

当初建設	着工	昭和 32 年度
	完成	昭和 38 年度
給水開始	一部給水	昭和 36 年 11 月
	全部給水	昭和 39 年 4 月
拡張工事	仙台港背後地	昭和 45 年度
	塩釜市水産加工団地	昭和 45 年度～46 年度
改築工事		昭和 49 年度～63 年度
拡張工事	泉・富谷地区	平成 元 年度～ 5 年度

■ 仙塩工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分	事 業 費				計	
	当初建設	拡張工事	改築工事	拡張工事		
			(昭和 49～63 年度)	(平成元～5 年度)		
取水・導水・浄水工事費	421,204	-	2,793,012	66,671	3,280,887	
配水工事費	608,323	390,478	3,907,586	5,608,877	10,515,264	
用地補償費	24,296	480	336,397	200,178	561,351	
その他	36,177	23,042	672,494	697,131	1,428,844	
計	1,090,000	414,000	7,709,489	6,572,857	15,786,346	
財源内訳	国庫補助金	138,000	-	1,250,800	1,917,829	3,306,629
	企業債	935,000	414,000	6,299,697	1,618,000	9,266,697
	その他	17,000	-	158,992	3,037,028	3,213,020
	計	1,090,000	414,000	7,709,489	6,572,857	15,786,346

● 大倉ダム建設費負担割合(工期 昭和 32～36 年 事業費 2,762,000 千円)

区 分	建設費負担割合	管理費負担割合
工業用水	5.6 %	5.6 %
公共	64.2 %	63.1 %
水道	29.4 %	30.5 %
発電	0.8 %	0.8 %
計	100.0 %	100.0 %

③ 施設の概要

項目	概要
貯水施設	大倉ダム[宮城県] 目的 洪水調整, かんがい, 発電 上水道[135,000 m ³ /日] 工業用水道[100,000 m ³ /日] 型式 ダブルアーチ 湛水面積 1.67 km ² 総貯水量 28,000,000 m ³
取水施設	取水口, 自動除じん機
導水施設	導水路延長 隧道, 暗渠等 8,762m 導水連絡管 (φ700mm~φ1,000mm) 5,287m
浄水施設	着水井 1井 接合分水井 1井 高速沈殿池 4池 計量室 1式 中央操作室 1棟 電気計装施設 1式
送水施設	配水池 大楯配水池 2池(1池容量2,000 m ³) 富谷配水池 2池(1池容量1,000 m ³) 配水管延長 φ100mm~φ1,350mm 71,306m 水管橋 13橋 配水連絡管 φ500mm 626m 送水ポンプ 横軸片吸込多段渦巻ポンプ 220kW 4台

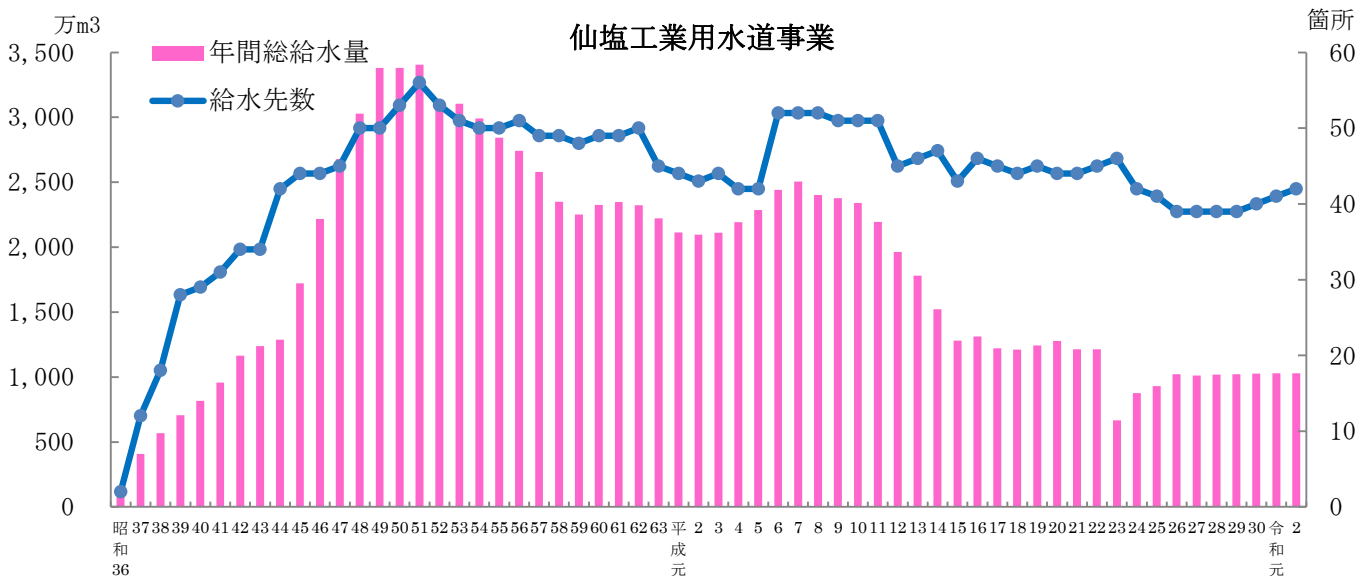
④ 経営の状況

● 給水状況

区分 \ 年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
契約水量(m ³ /日)	23,770	28,360	27,840	27,640	27,890	27,890	27,990	28,030	27,930	27,830
契約事業所数(箇所)	42	41	39	39	39	39	40	41	42	42

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数 (各年度2月末日現在)



■ 契約水量及び事業所数 (令和4年4月1日現在)

業種	契約水量 (m ³ /日)	事業所数
石油製品製造業	9,600	1
電気業	7,000	2
電気機械器具製造業	2,270	5
食料品製造業	2,030	6
非鉄金属製造業	1,560	1
化学工業	630	2
金属製品製造業	300	2
輸送用機械器具製造業	200	1
印刷・同関連業	400	3
窯業・土石製品製造業	200	2
その他	3,490	17
計	27,680	42

● 料金(1立方メートル当たり)

区分	S36年 11月1日	S45年 4月1日	S48年 4月1日	S50年 4月1日	S52年 8月1日	S56年 8月1日	S60年 4月1日
基本料金	3円50銭	4円50銭	6円	9円	13円	19円	28円
超過料金	7円	9円	12円	18円	26円	38円	56円
特定料金	3円50銭	4円50銭	-	-	-	-	-

区分	H元年 4月1日	H4年 4月1日	H7年 4月1日	H9年 4月1日	H14年 4月1日	H26年 4月1日	R元年 10月1日
基本料金	28円 28円84銭	33円 33円99銭	36円 37円08銭	36円 37円80銭	54円 56円70銭	54円 58円32銭	54円 59円40銭
超過料金	56円 57円68銭	66円 67円98銭	72円 74円16銭	72円 75円60銭	108円 113円40銭	108円 116円64銭	108円 118円80銭

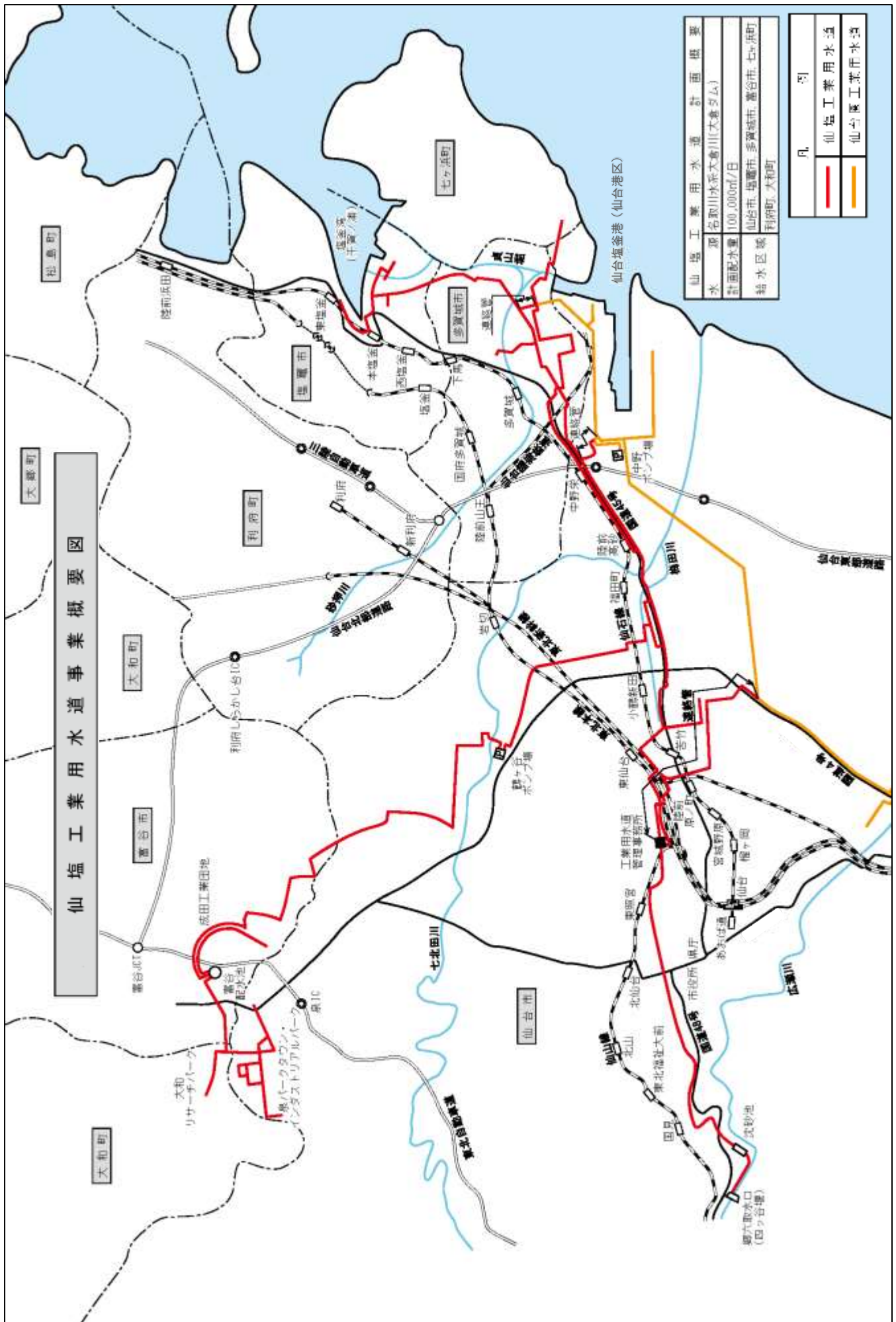
※H元年4月以降は、上段：消費税抜き、下段：消費税込み

● 収支状況

(単位：千円)

区分		年度				
		H30	R元	R2	R3	R4
収 入	営業収益	558,418	559,723	554,594	612,614	361,778
	営業外収益	149,494	149,747	157,007	153,317	141,203
	特別利益	0	0	7,757	0	0
	計	707,912	709,470	719,358	765,931	502,981
支 出	営業費用	630,964	592,415	603,826	659,436	495,563
	営業外費用	11,115	9,532	9,986	50,709	45,916
	特別損失等	0	24,716	37,284	16,593	500
	計	642,079	626,663	651,096	726,738	541,979
当年度純利益		65,833	82,807	68,262	39,193	▲38,998
当年度未処分利益剰余金		413,338	345,444	261,072	261,073	156,738
供給単価(円/m ³)		54.41	54.36	54.34	58.88	35.58
給水原価(円/m ³)		62.60	58.49	60.18	70.25	53.57
資本費(円/m ³)		37.84	36.35	35.60	35.53	37.65

※H30～R2は決算額(消費税抜き)、R3は最終現計予算額(消費税込み)、R4は当初予算額(消費税込み)、R4からみやぎ型管理運営方式導入。



(2) 仙台圏工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は、仙台港背後地の工業開発により既設の仙塩工業用水道のみでは需要に応ずる余力がなくなることが見込まれたことから、新たに昭和 47 年度から昭和 51 年度までの 5 年間で建設したもので、昭和 51 年 10 月 1 日から給水を開始しています。

給水能力は一日最大 100,000 m³で、仙台港背後地に立地する石油精製，都市ガス，鉄鋼関連の企業等のほか、名取市，七ヶ浜町及び利府町の企業にも給水しています。

● 令和 4 年度の業務予定量 (4 月 1 日現在)

給水事業所数	15 社
年間総給水量	14,983,250 m ³
一日平均給水量	41,050 m ³

● 水 源

一級河川名取川水系碁石川 (釜房ダム)

● 取 水

名取川頭首工(名取市高館熊野堂)釜房ダム放流水 一日最大 100,000 m³

● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 100,000 m ³
水 質	原水供給

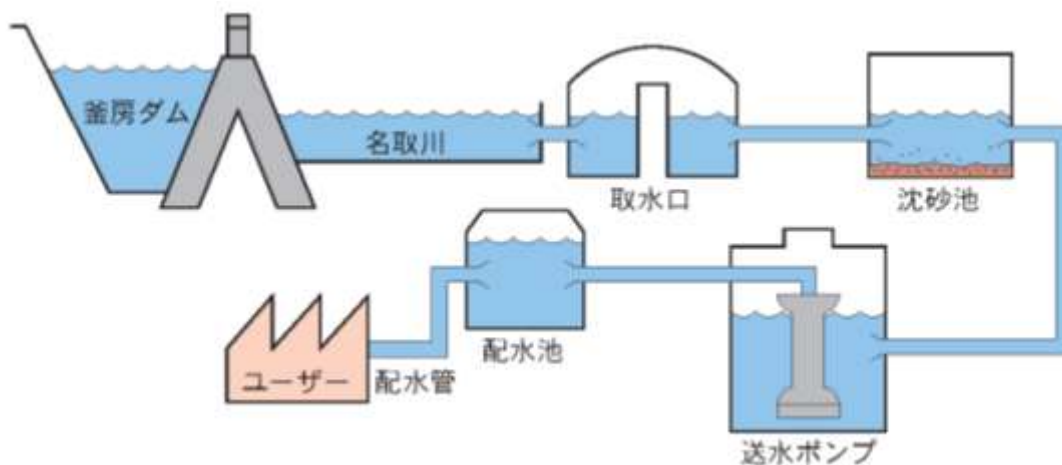
● 給水区域

仙台市，名取市，多賀城市，七ヶ浜町，利府町

● 工期及び給水開始

着 工	昭和 47 年度(ダム負担金は 42 年度から負担)
完 成	昭和 51 年度
給水開始	昭和 51 年 10 月

■ 仙台圏工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分		全 体 事 業 費	摘 要
貯水工事費		566,260	S46年度まで
取水・送水工事費		1,093,773	S47～S51年度
配水工事費		4,294,447	〃
用地補償及び調査費		1,278,412	〃
その他		838,289	S42～S51年度
計		8,071,181	
財源内訳	国庫補助金	2,531,400	
	企業債	5,336,000	
	一般会計からの出資金等	200,403	
	その他	3,378	
計		8,071,181	

● 釜房ダム建設費等負担割合(工期 昭和 39～45年 事業費 8,720,000千円)

区 分	建設費負担割合	管理費負担割合
工業用水	6.5%	6.5%
公用	74.6%	74.6%
上水道(仙台市)	18.8%	18.8%
発電	0.1%	0.1%
計	100.0%	100.0%

③ 施設の概要

項 目	概 要
貯水施設	釜房ダム[国土交通省] 目 的 洪水調整, かんがい, 発電 上水道[200,000 m ³ /日], 工業用水道[100,000 m ³ /日] 型 式 重力式コンクリート 湛水面積 3.9 km ² 総貯水量 45,300,000 m ³
取水施設	取水口[幅 3.00m×長 3.50m×高 2.50m] スクリーン 沈砂池 612 m ³ 2池[走行式吸砂装置付]
送水施設	送水ポンプ 立軸斜流ポンプ 355kW 3台(うち予備1台) 自家発電機(停電予備用) 送水管 φ1,000mm 総延長175m
配水施設	配水池 2池(1池あたり 2,000 m ³) 配水管 φ150mm～φ1,000mm 延長 29,417m 配水池～中田 φ1,100mm 4,712m 中田～名取 φ350mm 1,826m 中田～仙台港 φ1,000mm 14,618m 内 名取川水管橋 543m 笹川水管橋 24m 広瀬川水管橋 304m 七北田川水管橋 156m 仙台港 φ1,000mm 30m φ900mm 728m φ800mm 985m φ700mm 4,149m φ600mm 634m 若林 φ200mm～φ350mm 796m 南小泉 φ150mm 407m 仙塩・仙台圏の連絡管 φ500mm 532m

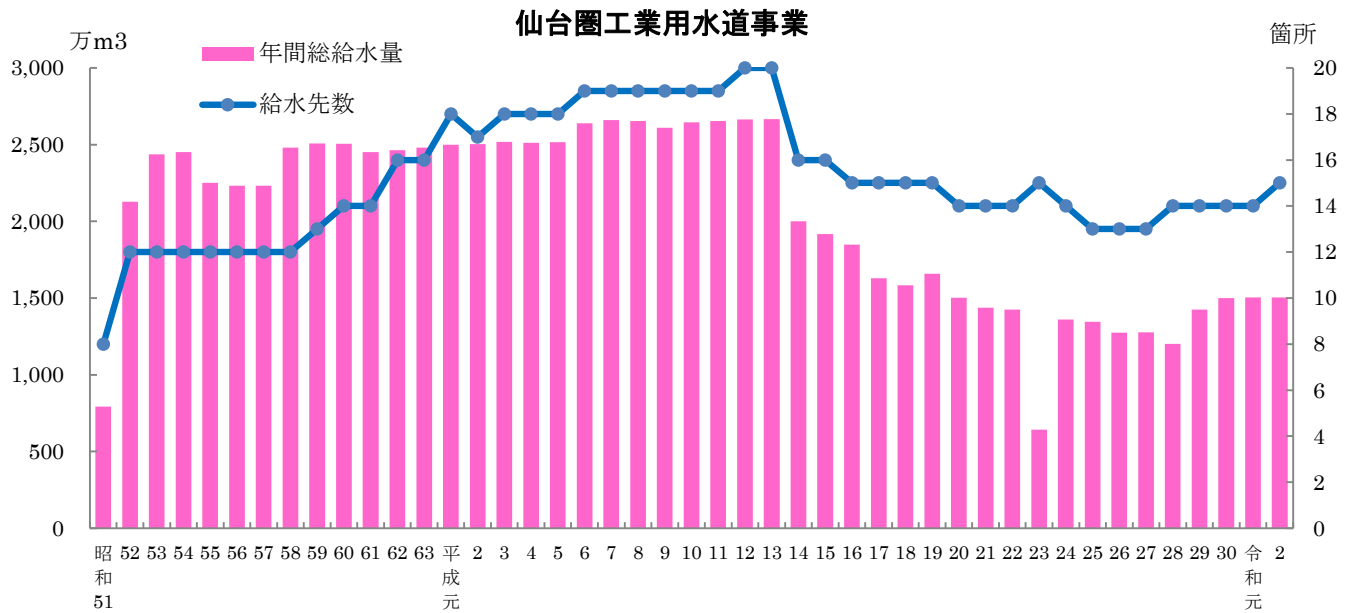
④ 経営の状況

● 給水状況

区分	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
契約水量 (m ³ /日)		36,230	34,860	34,860	34,860	33,310	40,990	40,990	40,990	41,950	41,050
契約事業所数(箇所)		14	13	13	13	14	14	14	14	15	15

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数 (各年度2月末日現在)



■ 契約水量及び事業所数 (令和4年4月1日現在)

業種	契約水量 (m ³ /日)	事業所数
石油製品製造業	14,400	1
飲料・たばこ・飼料製造業	8,300	2
鉄鋼業	7,000	1
食料品製造業	1,300	2
ガス業	500	1
化学工業	290	2
電気業	8,360	2
ゴム製品製造業	300	1
プラスチック製品製造業	100	1
その他	500	2
計	41,050	15

● 料金(1立方メートル当たり)

区分	S51年 10月1日	S58年 4月1日	H元年 4月1日	H9年 4月1日	H26年 4月1日	H29年 4月1日	R元年 10月1日
基本料金	17円	23円	23円	23円	23円	30円	30円
	—	—	23円69銭	24円15銭	24円84銭	32円40銭	33円
超過料金	34円	46円	46円	46円	46円	60円	60円
	—	—	47円38銭	48円30銭	49円68銭	64円80銭	66円

※H元年4月以降は、上段：消費税抜き、下段：消費税込み

● 収支状況

(単位：千円)

区分		年度				
		H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
収 入	営 業 収 益	459,855	466,715	548,321	512,405	424,880
	営 業 外 収 益	74,249	46,983	42,781	36,491	36,245
	特 別 利 益	0	14,331	9,025	0	16,127
	計	534,104	528,029	600,127	548,896	477,252
支 出	営 業 費 用	433,053	365,232	434,021	424,797	358,040
	営 業 外 費 用	720	1,045	2,963	52,031	48,302
	特 別 損 失 等	0	41,427	22,970	4,546	16,874
	計	433,773	407,704	459,954	481,374	423,216
当 年 度 純 利 益		100,331	120,325	140,173	67,522	54,036
当年度未処分利益剰余金		370,035	339,174	303,305	303,305	188,154
供給単価(円 / m ³)		30.03	30.04	30.02	33.43	24.23
給水原価(円 / m ³)		28.93	24.35	24.78	29.63	23.21
資本費(円 / m ³)		12.95	9.00	8.28	7.81	8.36

※H30～R2 は決算額(消費税抜き), R3 は最終現計予算額(消費税込み), R4 は当初予算額(消費税込み), R4 からみやぎ型管理運営方式導入。



(3) 仙台北部工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は、黒川郡の大和町と大衡村にまたがる本県内陸最大のプロジェクトとして建設された仙台北部中核工業団地のほか、大崎市及び加美郡加美町における立地企業に対し一日最大 58,500 m³の工業用水を供給するものです。

昭和 50 年度に建設工事に着手し、大崎市三本木地区までの整備を昭和 54 年度までに完成、昭和 55 年 4 月から一部給水を開始しており、その後、先端技術産業の立地促進のため、大衡村衡東地区に浄水場（濁度 1 度以下に浄水）を建設、昭和 62 年 4 月から給水しています。

また、昭和 63 年度から一部分譲を開始した仙台北部中核工業団地内の配水管布設工事は平成 3 年度に終了し給水を開始しており、平成 4 年度から平成 14 年度にかけて、第二仙台北部中核工業団地に配水管を布設しています。

さらに、令和 3 年 5 月から麓山浄水場池内にて濁度低減水処理施設の稼働を開始しており、高濁度時には施設内で濁度低減処理を行った水をユーザーへ配水しています。

● 令和 4 年度の業務予定量（4 月 1 日現在）

給水事業所数	17 社
年間総給水量	7,475,200 m ³
一日平均給水量	20,480 m ³

● 水 源

一級河川鳴瀬川水系鳴瀬川（漆沢ダム）

● 取 水

門沢取水堰（加美町門沢）漆沢ダム放流水 一日最大 60,000 m³

● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 58,500 m ³
水 質	原水供給 53,500 m ³ /日

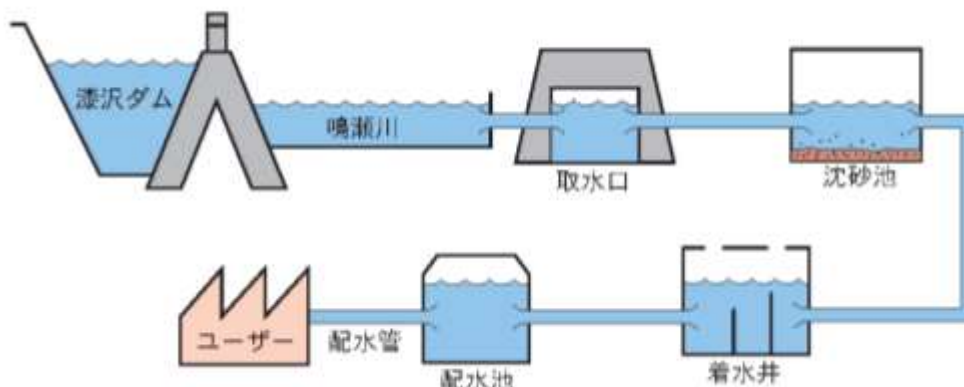
● 給水区域

大崎市、大和町、大衡村、加美町

● 工期及び給水開始

着 工	昭和 50 年度（ダム負担金は昭和 48 年度から負担）
完 成	平成 3 年度
給 水 開 始	一部給水 昭和 55 年 4 月
	全部給水 平成 4 年 4 月

■ 仙台北部工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位：千円)

区 分		全 体 事 業 費
取 水 ・ 導 水 工 事 費		2,901,559
配 水 工 事 費		5,235,756
用 地 補 償 費		131,051
そ の 他		5,936,239
計		14,204,605
財源内訳	国 庫 補 助 金	2,631,406
	企 業 債	10,638,000
	そ の 他	935,199
	計	14,204,605

● 漆沢ダム建設費等負担割合

8 ページ参照

③ 施設の概要

項 目	概 要	
貯水施設	漆沢ダム(大崎広域水道の水源内容と同じ)	
取水施設 〔大崎広域水道との共用〕	取 水 堰 長 40.0m×高 3.3m(固定部 長 30.0m・可動部 3.0m×2 門) 取 水 口 2 門 土砂吐ゲート, 管理橋 管 理 室 電気計装設備一式	
送水施設 〔大崎広域水道との共用〕	導水トンネル等 2 坑 4,313m 沈 砂 池 2 池 導 水 管 φ 900mm～φ 1,350mm 4,345m 水 管 橋 2 橋 151m 管 理 室 電気計装設備一式	
浄水施設 〔麓山浄水場〕	混 和 池 1 池 フロック形成池 2 池 薬 品 沈 殿 池 2 池	
浄水施設 〔衡東浄水場〕	着 水 井 1 井 フロック形成池 2 池 沈 殿 池 2 池	ろ 過 池 2 池 管理棟(平屋) 1 棟 各種計装設備 1 式
配水施設	配 水 池 (麓山) 1,215 m ³ 2 池 配 水 管 φ 900mm 29,749m 内 (掃出水管橋 204m) (高田水管橋 274.6m) φ 700mm 518m 内 (高倉水管橋 300m) φ 900mm 1,499m φ 400mm 3,569m φ 250mm～φ 400mm 142m (衡東枝線) φ 150mm～φ 600mm 8,714m (仙台北部中核工業団地内) φ 150mm～φ 250mm 954m (枝線) φ 100mm～φ 200mm 3,877m (第二北部中核工業団地) 桔梗平配水池 920 m ³ 1 池	

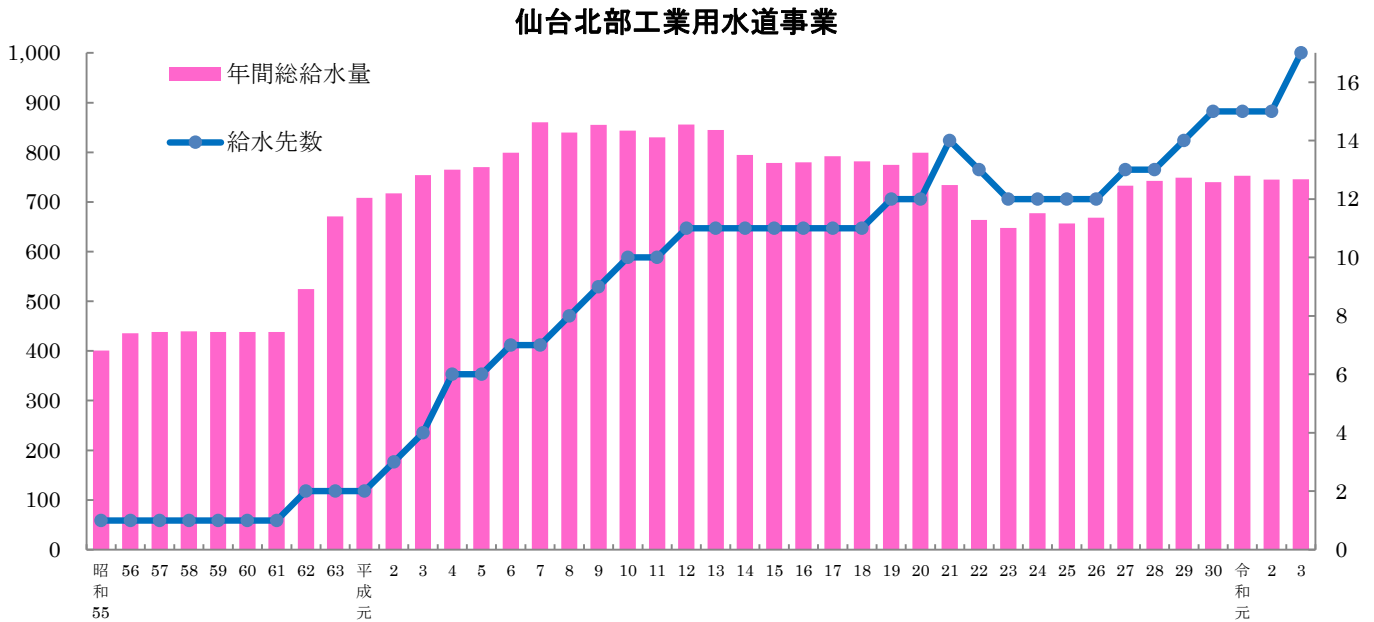
④ 経営の状況

● 給水状況

※各年度末現在

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
契約水量(m ³ /日)	18,690	17,960	19,660	20,260	20,360	20,360	20,560	20,530	20,280	20,480
契約事業所数(箇所)	12	13	14	14	14	14	15	15	15	17

■ 年間総給水量及び給水先数 (各年度2月末日現在)



■ 契約水量及び事業所数 (令和4年4月1日現在)

業種	契約水量 (m ³ /日)	事業所数
金属製品製造業	8,840	2
電気機械器具製造業	5,690	6
化学工業	3,250	2
食料品製造業	1,250	2
輸送用機械器具製造業	1,050	2
非鉄金属製造業	200	1
金属加工業	100	1
自動車部品製造業	100	1
計	20,480	17

● 料金(1立方メートル当たり)

区分	S55年 4月1日	H元年 4月1日	H5年 4月1日	H8年 4月1日	H9年 4月1日	H13年 4月1日	H26年 4月1日
基本料金	36円	36円 37円8銭	43円 44円29銭	50円 51円50銭	50円 52円50銭	59円 61円95銭	59円 63円72銭
超過料金	72円	72円 74円16銭	86円 88円58銭	100円 103円	100円 105円	118円 123円90銭	118円 127円44銭

区分	R元年 10月1日
基本料金	59円 64円90銭
超過料金	118円 129円80銭

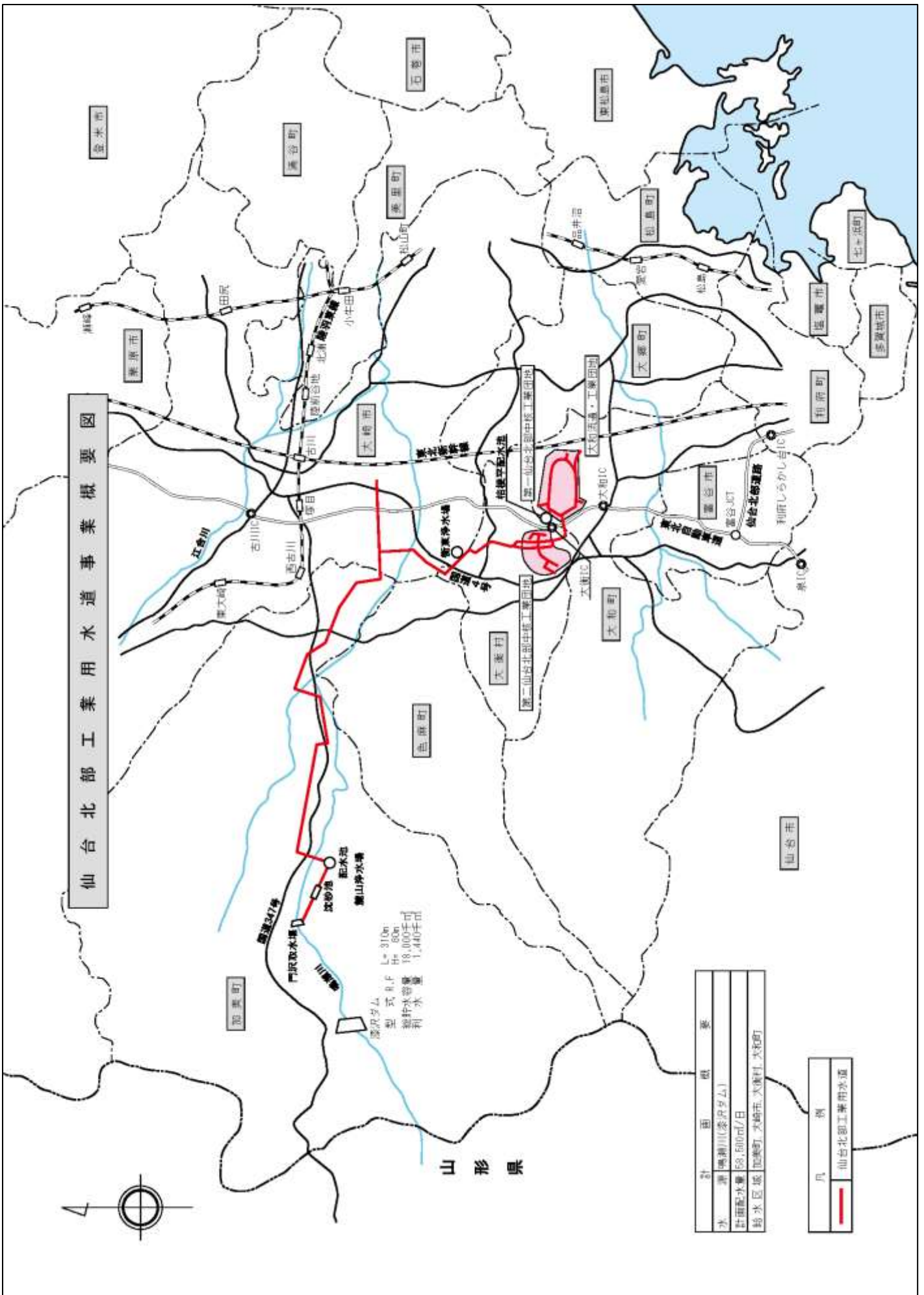
※H元年4月以降は、上段：消費税抜き、下段：消費税込み

● 収支状況

(単位：千円)

区分		年度				
		H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
収 入	営 業 収 益	462,816	471,043	465,583	491,438	409,898
	営 業 外 収 益	70,249	78,582	78,885	81,395	77,763
	特 別 利 益	3,105	8,575	5,686	0	2,029
	計	536,170	558,200	550,154	572,833	489,690
支 出	営 業 費 用	421,088	397,742	443,103	488,612	426,155
	営 業 外 費 用	990	501	1,181	46,401	42,622
	特 別 損 失 等	0	24,711	13,584	15,403	4,589
	計	422,078	422,954	457,868	550,416	473,366
当 年 度 純 利 益		114,092	135,246	92,286	22,417	16,324
当年度未処分利益剰余金		△412,898	△277,652	△185,366	△185,365	△186,470
供給単価(円 / m ³)		62.57	62.55	62.50	74.66	58.03
給水原価(円 / m ³)		57.06	52.88	59.64	80.78	66.61
資本費(円 / m ³)		40.12	39.56	40.35	46.74	45.83

※H30～R2 は決算額(消費税抜き), R3 は最終現計予算額(消費税込み), R4 は当初予算額(消費税込み), R4 からみやぎ型管理運営方式導入。



3 地域整備事業

(1) 事業の概要

本事業は、仙台港国際ビジネスサポートセンター（以下「アクセル」という。）の建設計画の推進を契機として、平成9年度に新たに創設したもので、地域振興に資する施設の建設や活力ある県土づくりの核となる地域開発、所有資産の有効かつ効率的な運用等により、地域整備の促進と県土の均衡ある発展を図り、もって県民の福祉の増進に寄与することを目的としています。

(2) 事業内容

① 地域整備事業

アクセル等地域振興に資する施設の建設や、所有資産を有効かつ効率的に運用することにより、地域整備の促進を図り、もって地域住民の福祉の向上に寄与しようとするものです。

② 新分野開発調査

新たな県民ニーズに的確に応え、住民福祉の向上に寄与するため、地方公営企業としての事業化の可能性について調査・研究を行うものです。

③ 長期貸付事業

所有資産の有効活用を図るとともに、地域整備に資する事業の金利負担の軽減を図り、事業の円滑な実施と企業経営の安定に寄与するものです。

(3) 令和4年度の主な事業

① アクセル施設管理運営事業

アクセルは、仙台港の国際貿易における港湾業務機能の支援と賑わいの創出による交流機能の集積を図ることを目的に、FAZ（輸入促進）事業を担う株式会社仙台港貿易促進センターとの共同施工により建築し、平成12年3月18日に開業しました。

東日本大震災での地震・津波により施設は甚大な被害を受け、震災以降1階及び2階部分のホール及びラボ等の営業を廃止し、平成26年7月、みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ）西館（経済商工観光部所管）として再開しました。

企業局が管理運営する3階から5階のオフィス部分については、16者（令和4年4月1日現在）が入居しており、引き続き港湾業務機能を支援する施設として入居率の向上に努めるとともに、適切な維持管理を行いながら更なる経営改善を図っていきます。

なお、アクセルは、仙台市の津波避難施設（平成28年度指定）として、本地域の防災拠点の機能も担っています。

建物概要

	所在地	仙台市宮城野区港三丁目1番3号
	敷地面積	26,076 m ² （約7,887坪）
	延床面積	10,750 m ² （約3,252坪）
	構造	地上5階、鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
	建設年度	平成9年度～平成11年度
	駐車場台数	523台
	施設	1階 展示場、ホール、会議室 2階 研修室、会議室 【1・2階は、みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ西館）として経済商工観光部所管部分】 3階～5階 賃貸オフィス、会議室 【企業局所管部分】

② 仙台港周辺地域賑わい創出推進事業

仙台港の開港以来常に当地域の発展に関わってきた企業局として、仙台港周辺地域の立地企業や関係機関と連携して積極的に賑わいの創出に向けた事業を推進しています。

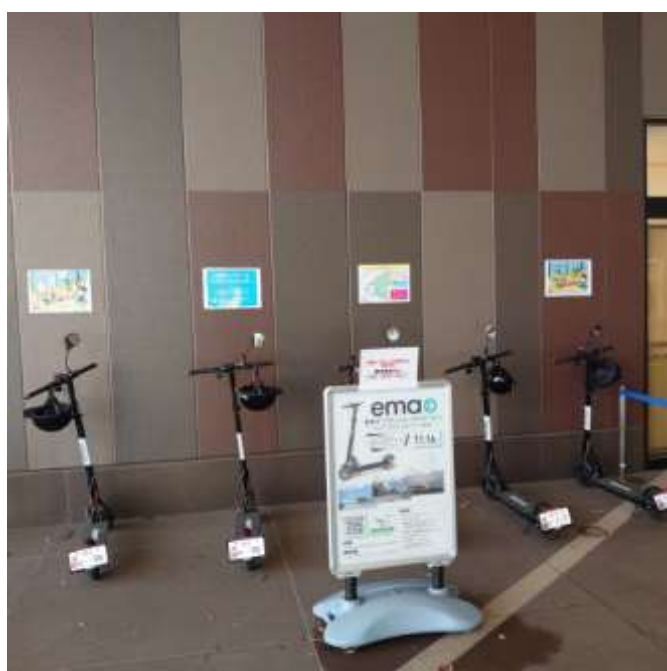
平成29年4月12日に官民連携組織である仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアムが設立され、主催イベントの実施や、仙台港周辺地域のまちづくりに関する検討などの活動支援を行っています。



ウォーキングを通じ、仙台港周辺地域の自然や、商業、工業地域などの景色をゆっくりと楽しみながら歩いてもらい、地域の魅力を発見してもらうことを目的に「みなとオアシス仙台港ウォーク」を開催



仙台港周辺地域の最寄り駅であるJR中野栄駅に広告を設置し、駅利用者への認知向上を図りました。



地域における新たなモビリティ導入を検討するため、電動キックボードの実証事業に取り組んでいます



地図をもとに、時間内にチェックポイントの得点を集めるスポーツ「みなとオアシス仙台港フォトロゲイニング大会」を初めて開催しました。

③ 仙台港周辺地域土地活用事業

仙台港周辺地域の土地を商業施設や流通業務施設等を用途とする事業者に対して貸付を行っています。

貸付用途別	貸付面積	備考
商業施設	122,169.02㎡	三井アウトレットパーク 仙台港及びカインズ仙台港店に貸付
流通業務施設	14,699.28㎡	流通事業者等7者に貸付
計	136,868.30㎡	



④ 他会計に対する長期貸付事業

令和4年3月31日現在

貸付先別会計	貸付額	償還済額	償還残額
水道用水供給事業会計	3,007,000,000円	3,007,000,000円	0円
大崎広域水道事業	907,000,000円	907,000,000円	0円
仙南・仙塩広域水道事業	2,100,000,000円	2,100,000,000円	0円
工業用水供給事業会計	5,395,200,000円	5,395,200,000円	0円
仙塩工業用水道事業	2,005,700,000円	2,005,700,000円	0円
仙台圏工業用水道事業	231,000,000円	231,000,000円	0円
仙台北部工業用水道事業	2,266,500,000円	2,266,500,000円	0円
仙南工業用水道事業	892,000,000円	892,000,000円	0円
流域下水道事業会計	1,210,000,000円	1,210,000,000円	0円
仙塩流域下水道事業	172,344,000円	172,344,000円	0円
阿武隈川下流流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
鳴瀬川流域下水道事業	172,942,000円	172,942,000円	0円
吉田川流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
北上川下流流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
北上川下流東部流域下水道事業	172,942,000円	172,942,000円	0円
迫川流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
計	9,612,200,000円	9,612,200,000円	0円

4 流域下水道事業

下水道は、良好な都市環境の形成と公衆衛生の向上に寄与するとともに、河川等の公共用水域の水質保全に重要な役割を有する住民生活に不可欠なライフラインです。

そのうち、流域下水道事業は、2以上の市町村の公共下水道からの汚水を受け、広域的かつ効果的に汚水を処理するため、都道府県が主体となって管理運営するものです。

本県が実施する流域下水道事業は、「仙塩流域下水道」、「阿武隈川下流流域下水道」、「鳴瀬川流域下水道」、「吉田川流域下水道」、「北上川下流流域下水道」、「北上川下流東部流域下水道」、「迫川流域下水道」の7流域になります。

なお、「仙塩流域下水道」、「阿武隈川下流流域下水道」、「鳴瀬川流域下水道」、「吉田川流域下水道」の4流域下水道事業においては、水道事業を取り巻く厳しい経営状況を改善するため、令和4年4月から公共施設等運営権（コンセッション）方式により民間事業者が運営を行う「宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）」を実施しています。

(1) 仙塩流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、松島湾、七北田川の公共用水域の水質保全を目的として、仙塩中央地区3市2町（仙台市・塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町・利府町）から流入する汚水を処理するものです。

昭和45年の下水道法の改正による流域下水道の法制化後、昭和47年に東北地方初の流域下水道として事業着手し、昭和53年に一部供用を開始しました。現在の管渠は26.2kmが整備され、令和2年度末の処理区域人口は316.2千人、下水道処理人口普及率は99.3%に達しています。

● 令和4年度の業務予定量

関連市町村数	3市2町
年間処理汚水量	39,452,000 m ³
日平均処理汚水量	108,088 m ³

● 仙塩流域計画一覧表（令和3年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	13,983ha		
処理面積	9,008.8ha	8,405.8ha	7,399.4ha
処理人口	308,531人	321,006人	316,165人
処理能力	222,200 m ³ /日	222,000 m ³ /日	222,000 m ³ /日
系列数	4	4	4
管渠延長	26,246m	26,246m	26,232m
ポンプ場	1箇所	1箇所	1箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

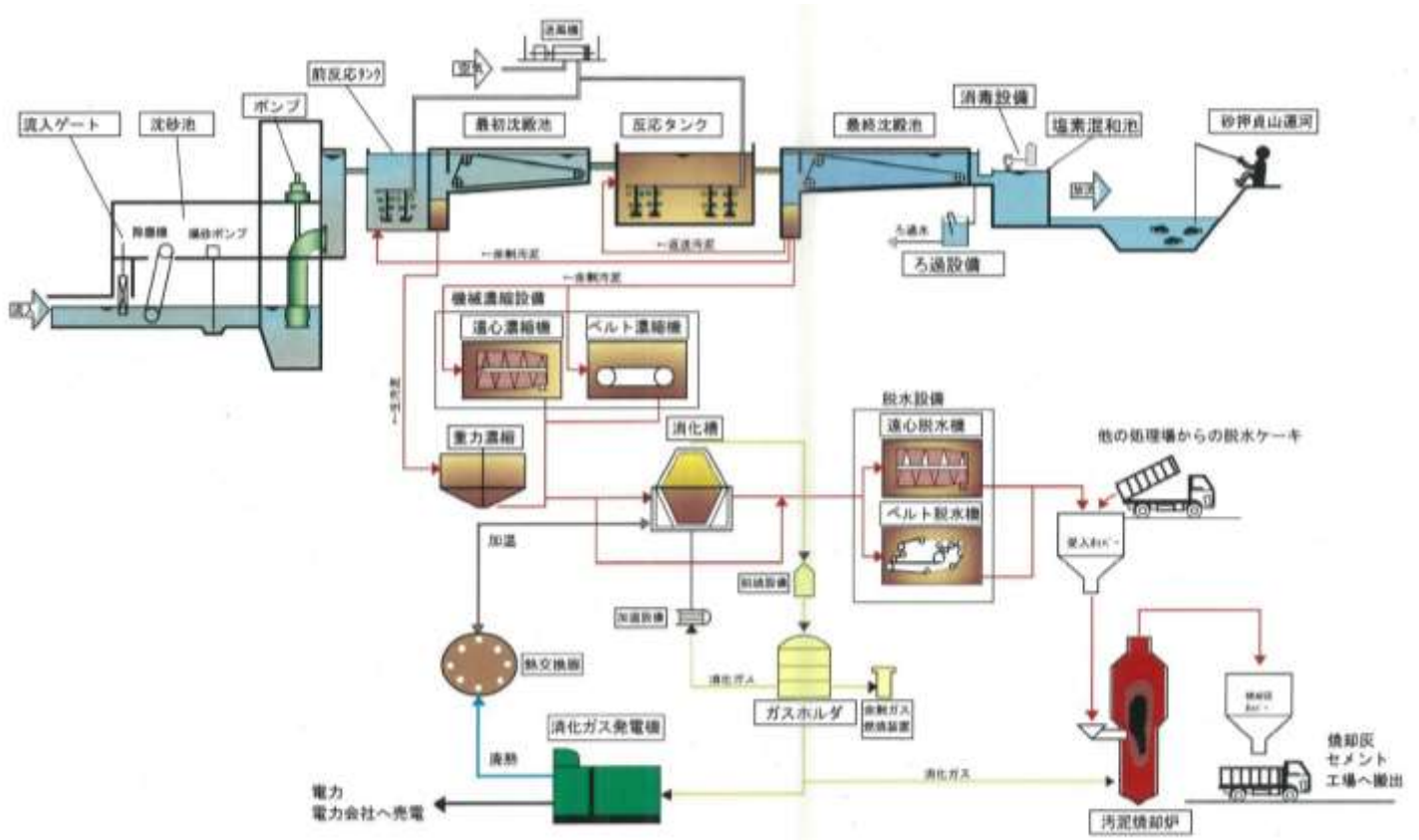
● 関連市町日平均汚水流入量（令和2年度実績）（単位：m³/日）

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
仙台市	54,986	七ヶ浜町	5,515
塩竈市	21,119	利府町	9,929
多賀城市	20,068	合計	111,617

● 沿革及び認可関係 (令和3年3月31日現在)

事業着手年度	昭和47年度
供用開始年月日	昭和53年6月1日
当初認可取得年月日	昭和48年3月28日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 仙塩浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位：千円)

区 分		令和2年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	45,463,784
	起債	11,430,700
	他会計繰入金	1,800,589
	市町分担金	12,775,466
	その他	0
	合計	71,470,539

③ 施設の概要

施設名	仙塩流域下水道事業	
	仙塩浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	旧塩素滅菌棟	1 棟
	電気センター	1 棟
	自家発電機棟	1 棟
	沈砂池	264.1 m ³ (2 池)
	前反応タンク	2,268 m ³ ×2 系
		900 m ³ ×2 系
	最初沈殿池	13,962 m ³
	反応タンク	64,127 m ³
	最終沈殿池	29,183 m ³
	消毒棟	1 棟
	塩素混和池	3,480 m ³
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	3 槽
	汚泥濃縮機棟	1 棟
	汚泥消化タンク	5 槽
	ガスタンク	2 台
	汚泥脱水機	3 台
	汚泥焼却施設	1 棟
ポンプ場	塩釜中継ポンプ場	

④ 経営の状況

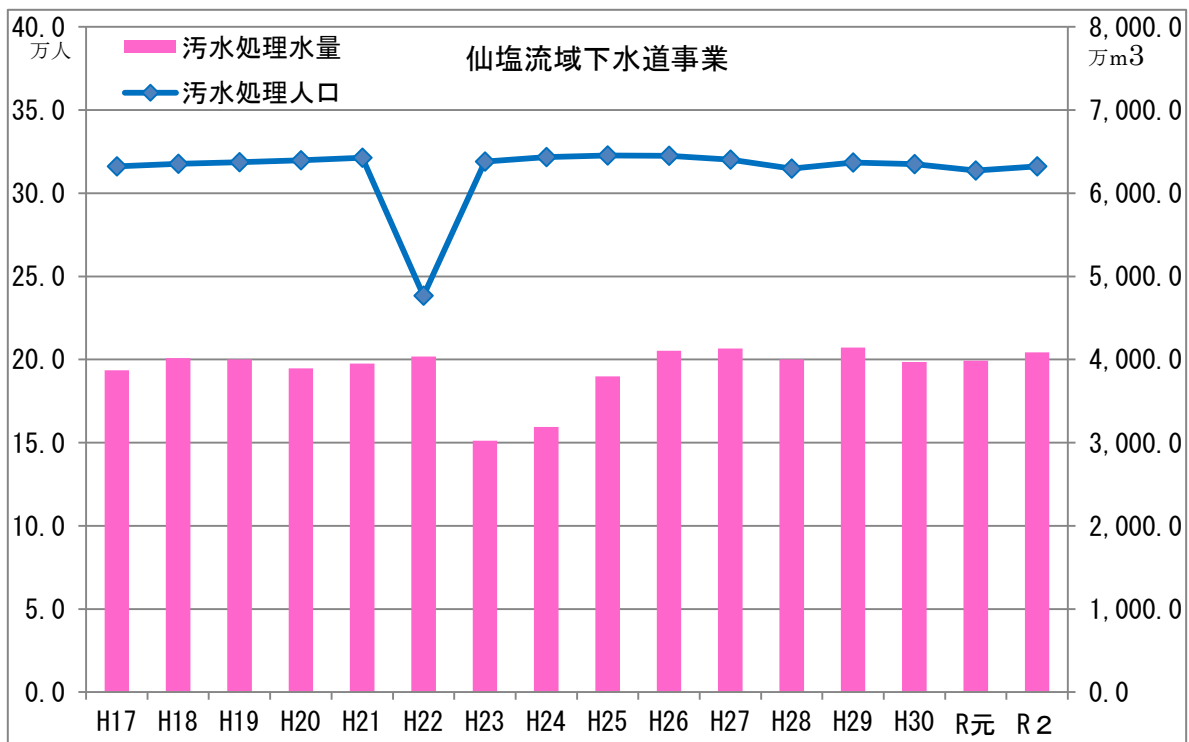
● 処理量等

年 度	H 30	R 元	R 2	R 3	R4
A 施設能力 m ³ /日	222,000	222,000	222,000	222,000	222,000
B 処理人口 人	317,556	313,644	316,165	集計中	—
C 処理水量 m ³ /年	40,493,171	39,873,639	40,851,879	40,342,405	39,452,000
D 有収水量 m ³ /年	40,493,171	39,873,639	40,851,879	40,342,405	39,452,000
E 1日平均処理量 m ³	110,941	109,243	111,617	110,527	108,088
F 1日最大処理量 m ³	222,000	222,000	222,000	222,000	222,000
G 管渠費 千円	—	11,220	41,407	24,607	91,190
H ポンプ場費 千円	—	88,250	78,365	96,018	0
I 処理場費 千円	—	1,447,696	1,517,420	1,663,004	2,317

※ 消費税含まず。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ H30の管渠費、ポンプ場費、処理場費は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

■ 処理人口（各年3月末日現在）及び処理量（有効水量）（各年12月末日現在）の推移



● 料金等

年 度	H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
負担金 千円	1,522,543	1,586,971	1,625,905	1,605,627	494,597
負担金単価 円/m ³	38.0	39.8	39.8	39.8	39.8
汚水処理原価 円/m ³	38.0				
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m ³	37.6				
汚水処理原価 (資本費) 円/m ³	0.4				

※ 消費税を含む。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い、R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、負担金には利用料金含まず、単価には利用料金分を含んでいる。

● 収支状況

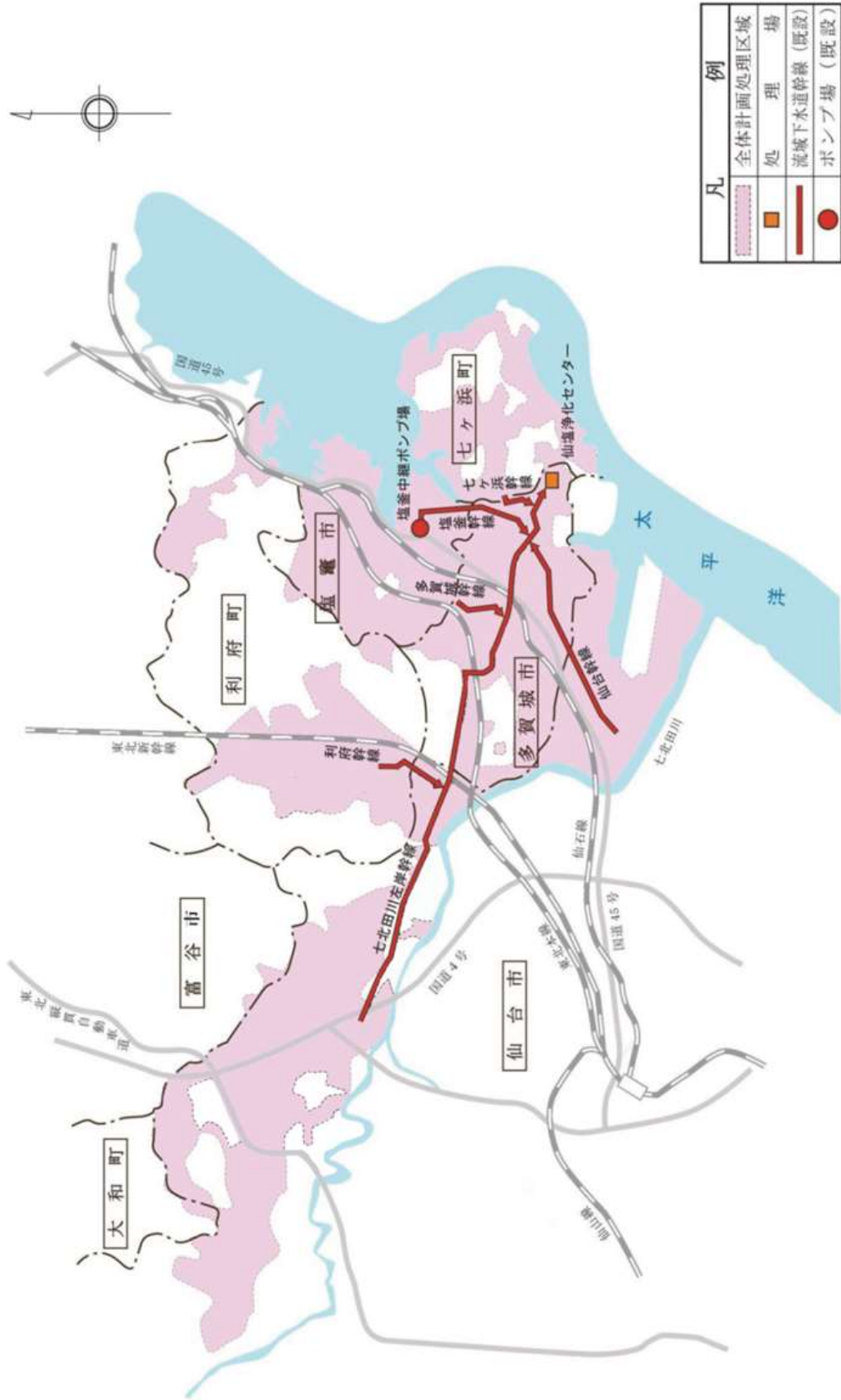
年 度		H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
収入	営業収益(除受託) 千円	-	1,586,971	1,625,905	1,605,627	501,597
	うち料金収入 千円	-	1,586,971	1,625,905	1,605,627	494,597
	営業外収益 千円	-	2,404,860	2,206,859	2,280,720	2,082,662
	特別収益 千円	-	0	125,938	76,352	44,845
	計 千円	-	3,991,831	3,958,701	3,962,699	2,629,104
支出	営業費用 千円	-	3,748,851	3,716,044	3,767,578	2,068,270
	営業外費用 千円	-	68,758	60,367	103,648	97,756
	特別損失 千円	-	9,628	215,836	124,581	59,745
	総費用(除受託) 千円	-	3,827,237	3,992,247	3,996,507	2,226,871
	計 千円	-	3,827,237	3,992,247	3,996,507	2,226,871
当年度純利益 千円		-	164,594	△33,546	△33,808	402,233

※ 消費税を含む。R元～R2は決算ベース，R3は最終現計予算ベース，R4は当初予算ベースで作成。

※ H30は公営企業会計適用前のため，集計値無し。

※ R4からは，みやぎ型管理運営方式導入のため，営業収益及び料金収入には利用料金は含んでいない。

仙塩流域下水道一般図



⑤ 再生可能エネルギーの導入

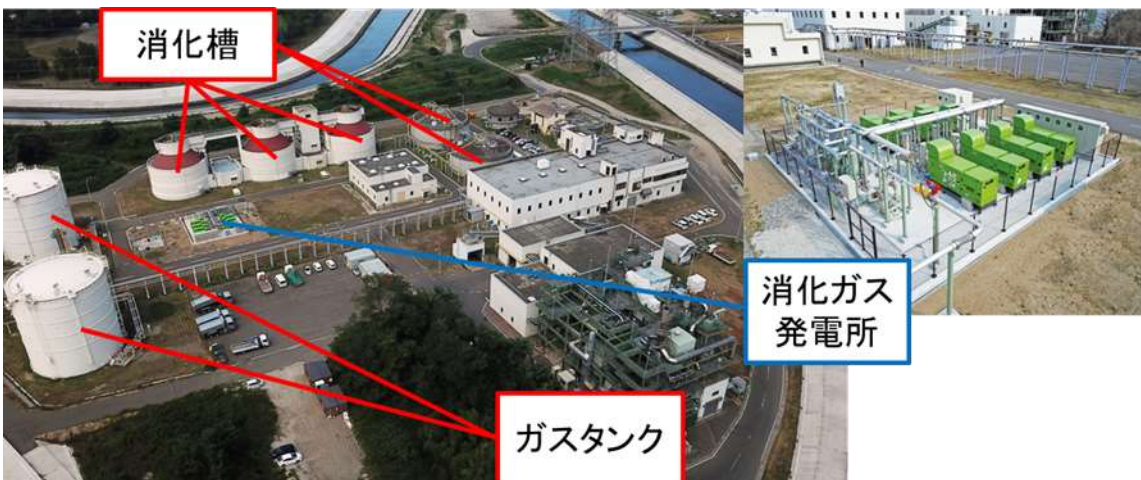
● 仙塩浄化センター消化ガス発電所

仙塩浄化センターの下水汚泥処理工程から発生する消化ガス（メタンガスと二酸化炭素を主成分とする可燃性ガス）のうち、約70%は焼却炉や消化槽加温用ボイラーの燃料として活用していたが、残る30%については未利用のまま焼却処分していました。

この未利用資源を有効活用するため余剰の消化ガスを発電事業者へ売却し、事業者が発電した電気を固定価格買取制度（FIT）を活用して売電しています。

また、発電に伴い発生する熱を温水として回収し、汚泥処理に活用しています。

- ・事業主体 (株)大原鉄工所 (民設民営 FIT)
- ・事業場所 仙塩浄化センター内 (多賀城市大代)
- ・発電出力 350 kW (70 kW×5 台)
- ・発電電力量 約 200 万 kWh/年 (一般家庭約 440 世帯分に相当)
- ・年間土地賃借料 560,920 円
- ・消化ガス売却収入 約 4 億円 (20 年間)
- ・工事着工 平成 29 年 6 月 1 日
- ・稼働開始 平成 30 年 4 月 1 日
- ・事業期間 発電開始から 20 年間



(2) 阿武隈川下流流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、住宅団地開発による人口の増加や工場立地等に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、5市6町（仙台市・白石市・名取市・角田市・岩沼市・蔵王町・大河原町・村田町・柴田町・丸森町・亘理町）から流入する汚水を処理するものです。

昭和49年度に流域下水道として事業着手し、昭和60年1月に一部供用を開始しました。現在の管渠は89.9kmが整備され、令和2年度末の処理区域人口は308.1千人、下水道処理人口普及率は83.9%に達しています。

● 令和4年度の業務予定量

関連市町村数	5市6町
年間処理汚水量	31,956,000 m ³
日平均処理汚水量	87,551 m ³

● 阿武隈川下流流域計画一覧表（令和3年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	126,169ha		
処理面積	11,121.8ha	10,237.8ha	8,593.5ha
処理人口	291,312人	297,494人	308,083人
処理能力	125,000 m ³ /日	125,000 m ³ /日	125,000 m ³ /日
系列数	5	5	4.5
管渠延長	106,865m	90,710m	89,971m
ポンプ場	7箇所	6箇所	6箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

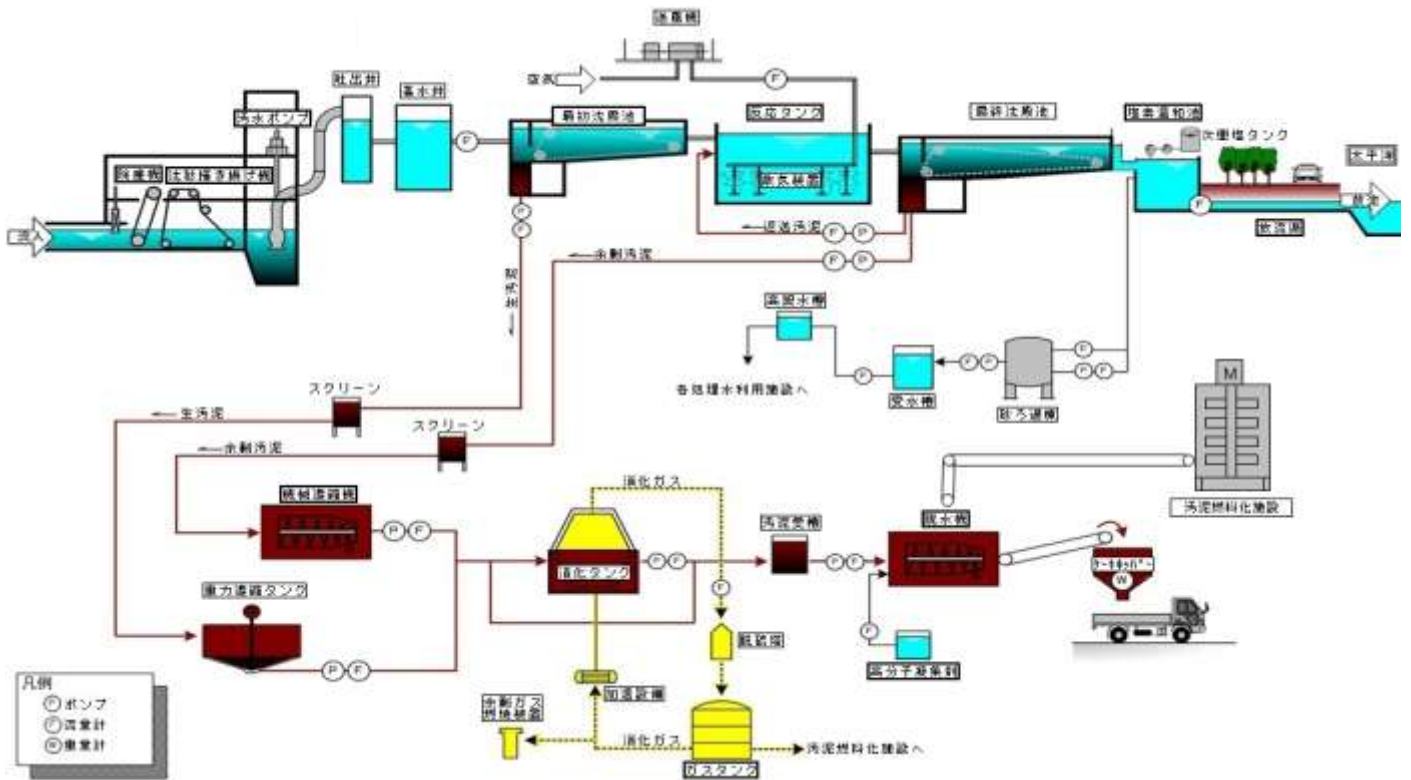
● 関連市町日平均汚水流入量（令和2年度実績）（単位：m³/日）

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
仙台市	16,911	大河原町	5,334
白石市	7,452	村田町	1,733
名取市	22,419	柴田町	9,800
角田市	4,035	丸森町	1,040
岩沼市	12,626	亘理町	6,549
蔵王町	1,493	合計	89,392

● 沿革及び認可関係（令和3年3月31日現在）

事業着手年度	昭和49年度
供用開始年月日	昭和60年1月1日
当初認可取得年月日	昭和50年3月31日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 県南浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位：千円)

区 分		令和2年度まで
建設改良費	国庫補助金	59,942,331
	起 債	16,577,502
	他会計繰入金	3,267,711
	市町分担金	19,698,126
	その他	0
	合 計	99,485,670

③ 施設の概要

施設名	阿武隈川下流流域下水道事業	
	県南浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	塩素滅菌棟	1 棟
	第2水処理電気室	1 棟
	自家発電機棟	1 棟
	沈砂池	2 池
	最初沈殿池	11,546 m ³
	反応タンク	42,842 m ³
	最終沈殿池	21,179 m ³
	塩素混和池	1,362 m ³
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	3 槽
	機械濃縮棟	1 棟
	汚泥消化タンク	3 槽
	消化汚泥加温棟	1 棟
	脱水機棟	2 棟
	汚泥燃料化施設	1 基
ポンプ場	亘理ポンプ場	
	角田ポンプ場	
	名取ポンプ場	
	大河原ポンプ場	
	仙台ポンプ場	
	丸森ポンプ場	

④ 経営の状況

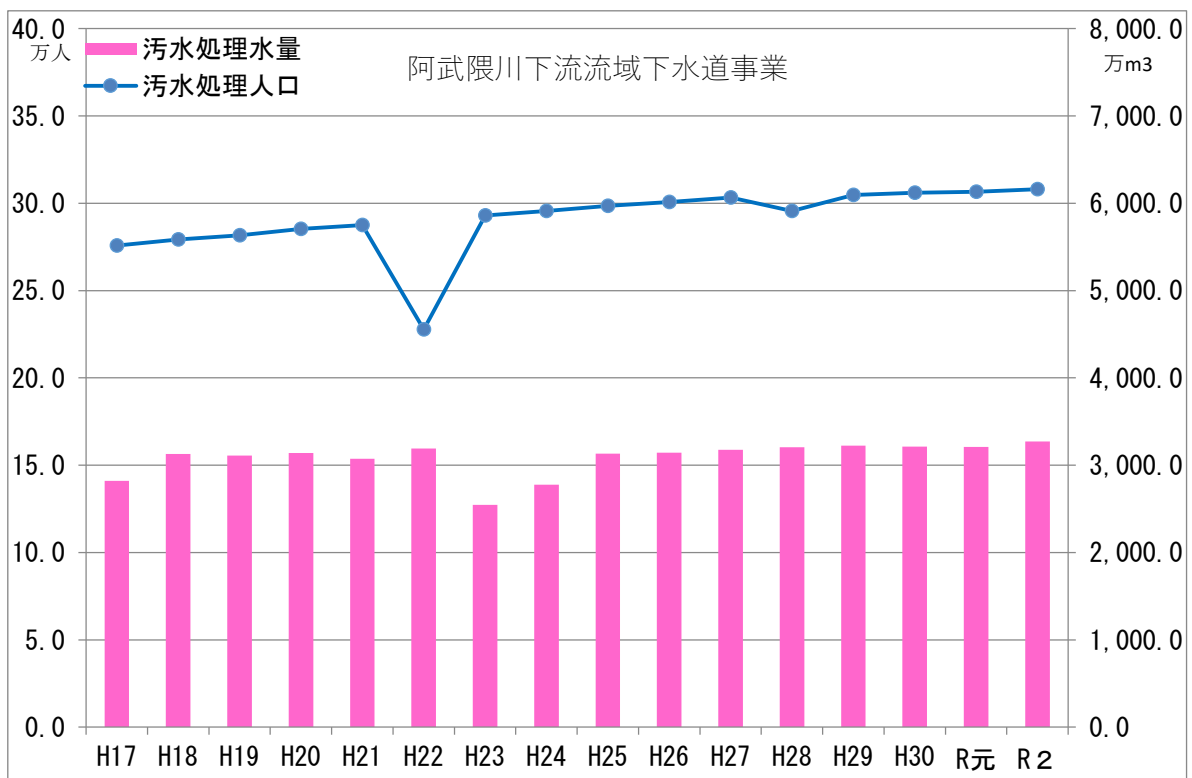
● 処理量等

年 度	H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
A 施設能力 m ³ /日	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000
B 処理人口 人	305,976	306,667	308,083	集計中	—
C 処理水量 m ³ /年	32,154,896	32,081,835	32,717,309	33,131,433	31,956,000
D 有収水量 m ³ /年	32,154,896	32,081,835	32,717,309	33,131,433	31,956,000
E 1日平均処理量 m ³	88,096	87,895	89,392	90,771	87,551
F 1日最大処理量 m ³	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000
G 管渠費 千円	—	20,825	60,567	26,703	144,668
H ポンプ場費 千円	—	157,821	221,606	179,024	0
I 処理場費 千円	—	1,258,950	1,277,252	1,350,899	2,073

※ 消費税を含む。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ H30の管渠費、ポンプ場費、処理場費は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

■ 処理人口（各年3月末日現在）及び処理量（有効水量）（各年12月末日現在）の推移



● 料金等

年 度	H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
負担金 千円	1,504,849	1,555,969	1,586,789	1,606,874	512,058
負担金単価 円/m ³	47.4	48.5	48.5	48.5	48.5
汚水処理原価 円/m ³	47.4				
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m ³	46.8				
汚水処理原価 (資本費) 円/m ³	0.6				

※ 消費税を含む。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い、R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、負担金には利用料金を含まず、単価には利用料金分を含んでいる。

● 収支状況

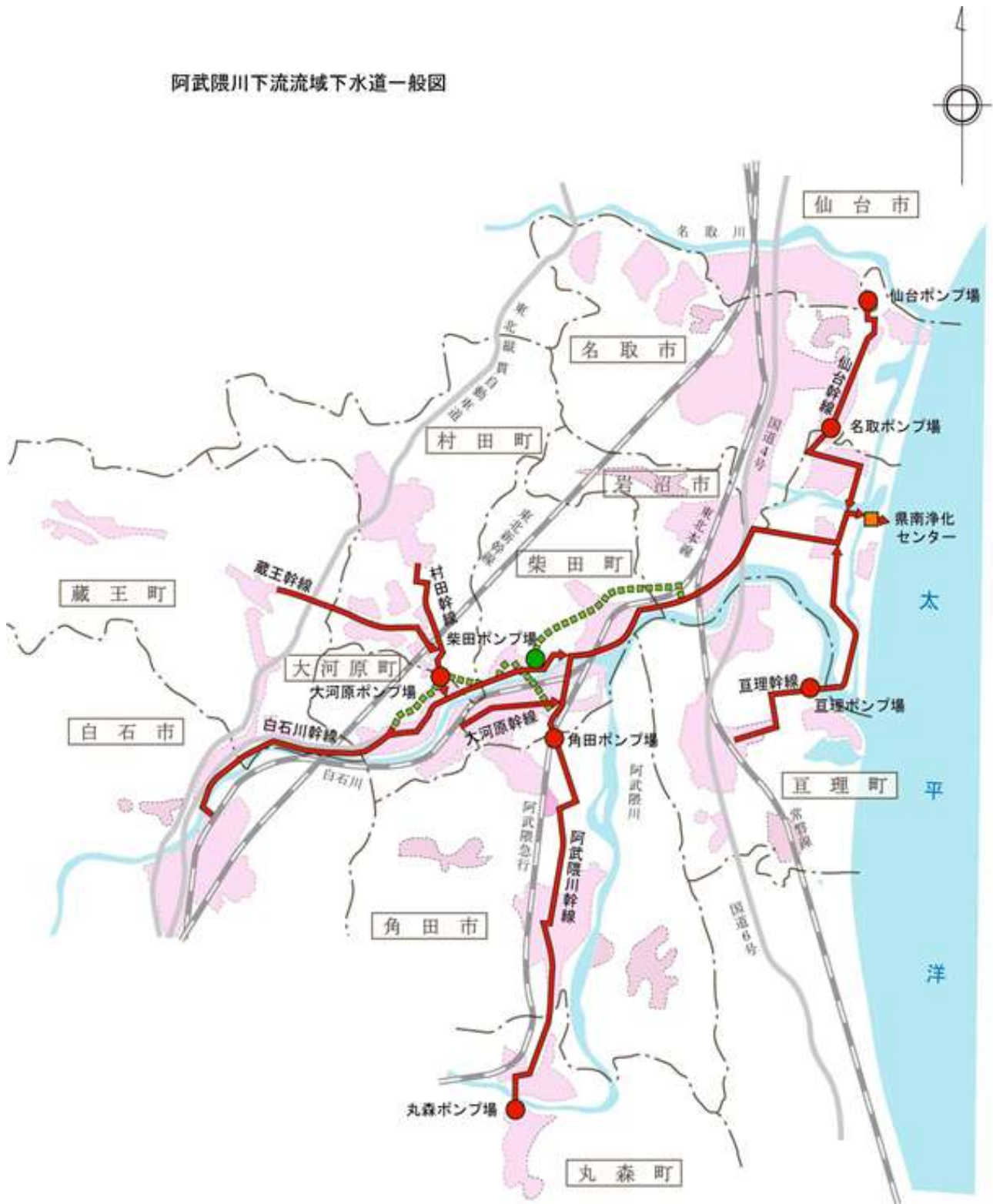
年 度		H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
収入	営業収益(除受託) 千円	-	1,555,969	1,586,789	1,606,874	520,058
	うち料金収入 千円	-	1,555,969	1,586,789	1,606,874	512,058
	営業外収益 千円	-	3,282,732	3,085,764	3,070,639	3,014,667
	特別収益 千円	-	0	136,477	97,529	70,845
	計 千円	-	4,838,701	4,809,031	4,775,042	3,605,570
支出	営業費用 千円	-	4,434,882	4,492,770	4,435,117	3,090,366
	営業外費用 千円	-	77,135	66,590	105,344	111,624
	特別損失 千円	-	7,807	226,371	137,303	94,445
	総費用(除受託) 千円	-	4,519,824	4,785,731	4,678,564	3,298,135
	計 千円	-	4,519,824	4,785,731	4,678,564	3,298,135
当年度純利益 千円		-	318,877	23,300	96,478	307,435

※ 消費税を含む。R元～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、営業収益及び料金収入には利用料金は含んでいない。

阿武隈川下流域下水道一般図



凡 例	
	全体計画処理区域
	処 理 場
	流域下水道幹線 (既設)
	流域下水道幹線 (計画)
	ポンプ場 (既設)
	ポンプ場 (計画)

(3) 鳴瀬川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、1市1町（大崎市・美里町）から流入する汚水を処理するものです。

昭和56年度に流域下水道として事業着手し、平成4年4月に一部供用を開始しました。現在の管渠は21.1kmが整備され、令和2年度末の処理区域人口は26.9千人、下水道処理人口普及率は55.2%に達しています。

● 令和4年度の業務予定量

関連市町村数	1市1町
年間処理汚水量	2,526,000 m ³
日平均処理汚水量	6,921 m ³

● 鳴瀬川流域計画一覧表（令和3年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	16,432ha		
処理面積	1,569.93ha	1,388.49ha	1,062.3ha
処理人口	29,650人	29,650人	26,947人
処理能力	11,100 m ³ /日	11,100 m ³ /日	8,800 m ³ /日
系列数	6	6	5
管渠延長	21,130m	21,130m	21,158m
ポンプ場	5箇所	5箇所	5箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

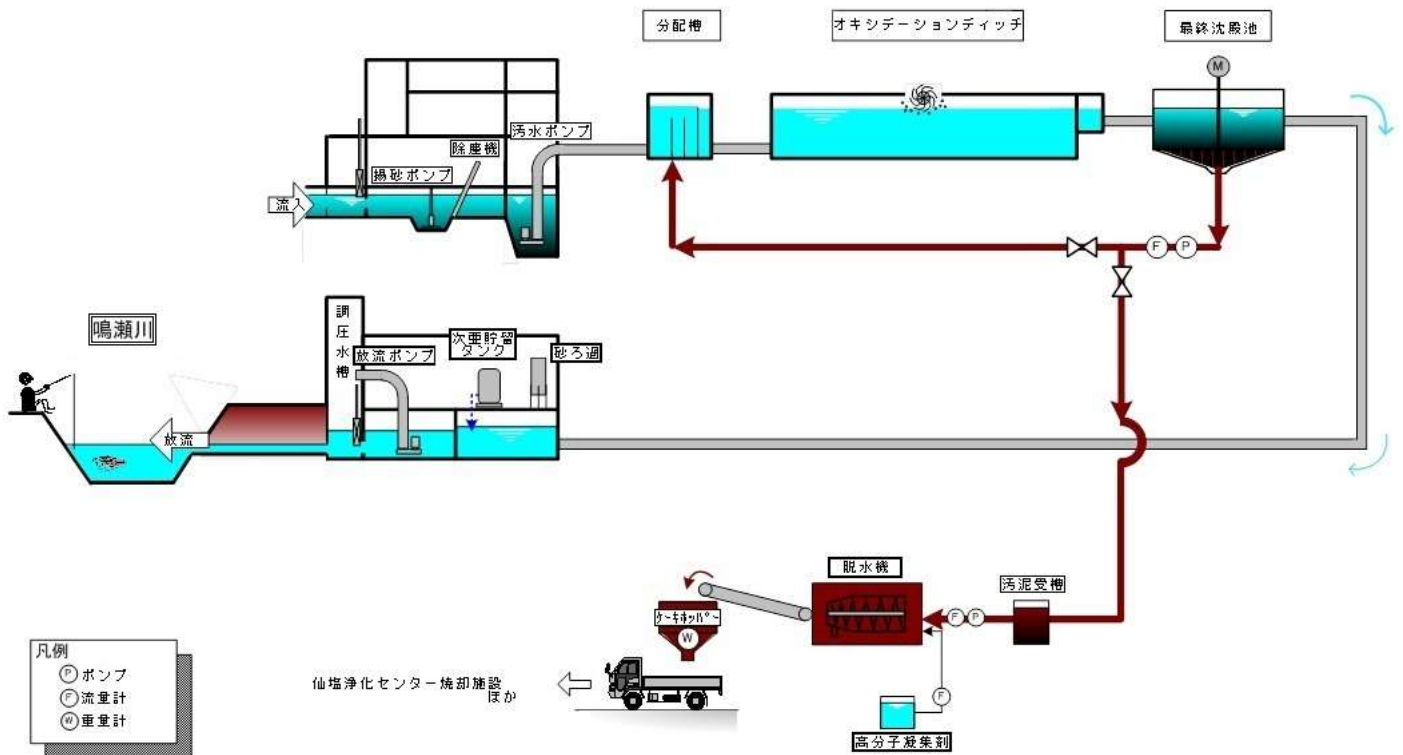
● 関連市町日平均汚水流入量（令和2年度実績）（単位：m³/日）

市町村名	汚水量
大崎市	4,647
美里町	2,046
合計	6,693

● 沿革及び認可関係（令和3年3月31日現在）

事業着手年度	昭和56年度
供用開始年月日	平成4年4月1日
当初認可取得年月日	昭和57年3月2日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 鹿島台浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位：千円)

区 分		令和2年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	10,591,472
	起 債	2,657,600
	他会計繰入金	565,301
	市町分担金	5,535,226
	そ の 他	0
	合 計	19,349,600

③ 施設の概要

施設名	鳴瀬川流域下水道事業	
	鹿島台浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	電気室	1 棟
	自家発電機棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	オキシデーションディッ チ	8,788 m ³
	最終沈殿池	8,800 m ³
	塩素注入施設	1 基
汚泥処理施設	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	松山第 1 中継ポンプ場 松山第 2 中継ポンプ場 鹿島台中継ポンプ場 小牛田ポンプ場 三本木ポンプ場	

④ 経営の状況

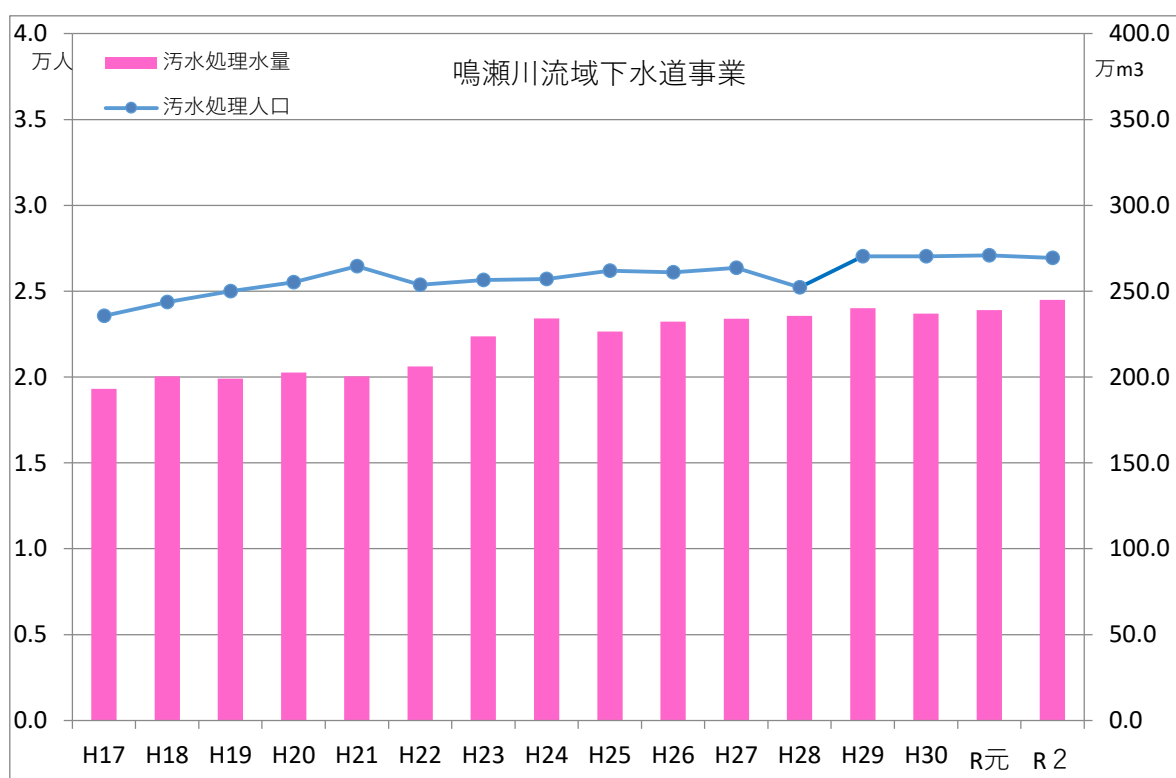
● 処理量等

年 度	H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
A 施設能力 m ³ /日	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
B 処理人口 人	27,036	27,087	26,947	集計中	—
C 処理水量 m ³ /年	2,390,616	2,417,143	2,449,683	2,518,668	2,526,000
D 有収水量 m ³ /年	2,390,616	2,417,143	2,449,683	2,518,668	2,526,000
E 1日平均処理量 m ³	6,550	6,622	6,693	6,900	6,921
F 1日最大処理量 m ³	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
G 管渠費 千円	—	3,710	15,070	13,025	87,844
H ポンプ場費 千円	—	33,211	40,122	41,579	0
I 処理場費 千円	—	162,260	159,031	215,239	2,031

※ 消費税を含む。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ H30の管渠費、ポンプ場費、処理場費は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

■ 処理人口（各年3月末日現在）及び処理量（有効水量）（各年12月末日現在）の推移



● 料金等

年 度	H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
負担金 千円	241,691	196,030	198,669	204,263	65,907
負担金単価 円/m ³	101.9				
汚水処理原価 円/m ³	101.9				
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m ³	101.1	81.1	81.1	81.1	81.1
汚水処理原価 (資本費) 円/m ³	0.8				

※ 消費税を含む。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い、R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、負担金には利用料金を含まず、単価には利用料金分を含んでいる。

● 収支状況

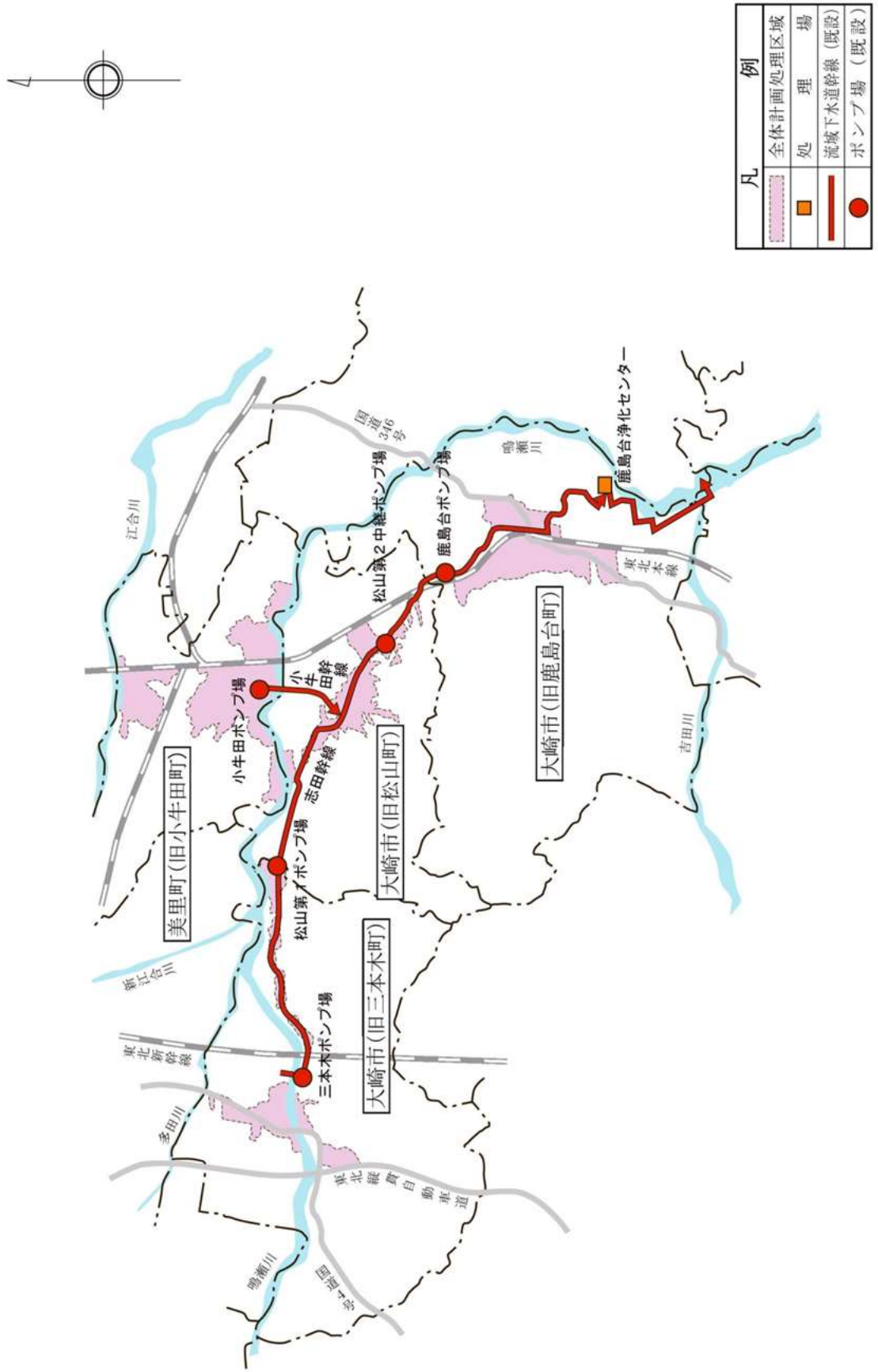
年 度		H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
収入	営業収益(除受託) 千円	-	196,030	198,669	204,263	68,907
	うち料金収入 千円	-	196,030	198,669	204,263	65,907
	営業外収益 千円	-	559,225	436,503	475,507	441,509
	特別収益 千円	-	0	29,663	48,034	24,972
	計 千円	-	755,255	664,835	727,804	535,388
支出	営業費用 千円	-	626,981	586,890	641,749	449,520
	営業外費用 千円	-	15,970	13,992	41,359	37,726
	特別損失 千円	-	560	73,488	72,226	33,272
	総費用(除受託) 千円	-	643,511	674,370	755,634	521,618
	計 千円	-	643,511	674,370	755,634	521,618
当年度純利益 千円		-	111,744	△9,535	△27,830	13,770

※ 消費税を含む。R元～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、営業収益及び料金収入には利用料金は含んでいない。

鳴瀬川流域下水道一般図



(4) 吉田川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、仙台北部中核都市建設が進む黒川郡を対象に、人口増加や工場立地に伴う水質悪化防止等を目的とし、1市2町1村（富谷市・大和町・大郷町・大衡村）から流入する汚水を処理するものです。

昭和63年度に流域下水道として事業着手し、平成4年4月に一部供用を開始しました。現在の管渠は28.1kmが整備され、令和2年度末の処理区域人口は79.7千人、下水道処理人口普及率は89.0%に達しています。

● 令和4年度の業務予定量

関連市町村数	1市2町1村
年間処理汚水量	10,957,000 m ³
日平均処理汚水量	29,910 m ³

● 吉田川流域計画一覧表（令和3年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	41,693ha		
処理面積	4,365.4ha	3,459.5ha	3,040.1ha
処理人口	85,635人	82,669人	79,717人
処理能力	55,400 m ³ /日	54,800 m ³ /日	41,825 m ³ /日
系列数	5	5	3.5
管渠延長	28,340m	28,340m	28,186m
ポンプ場	4箇所	4箇所	4箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

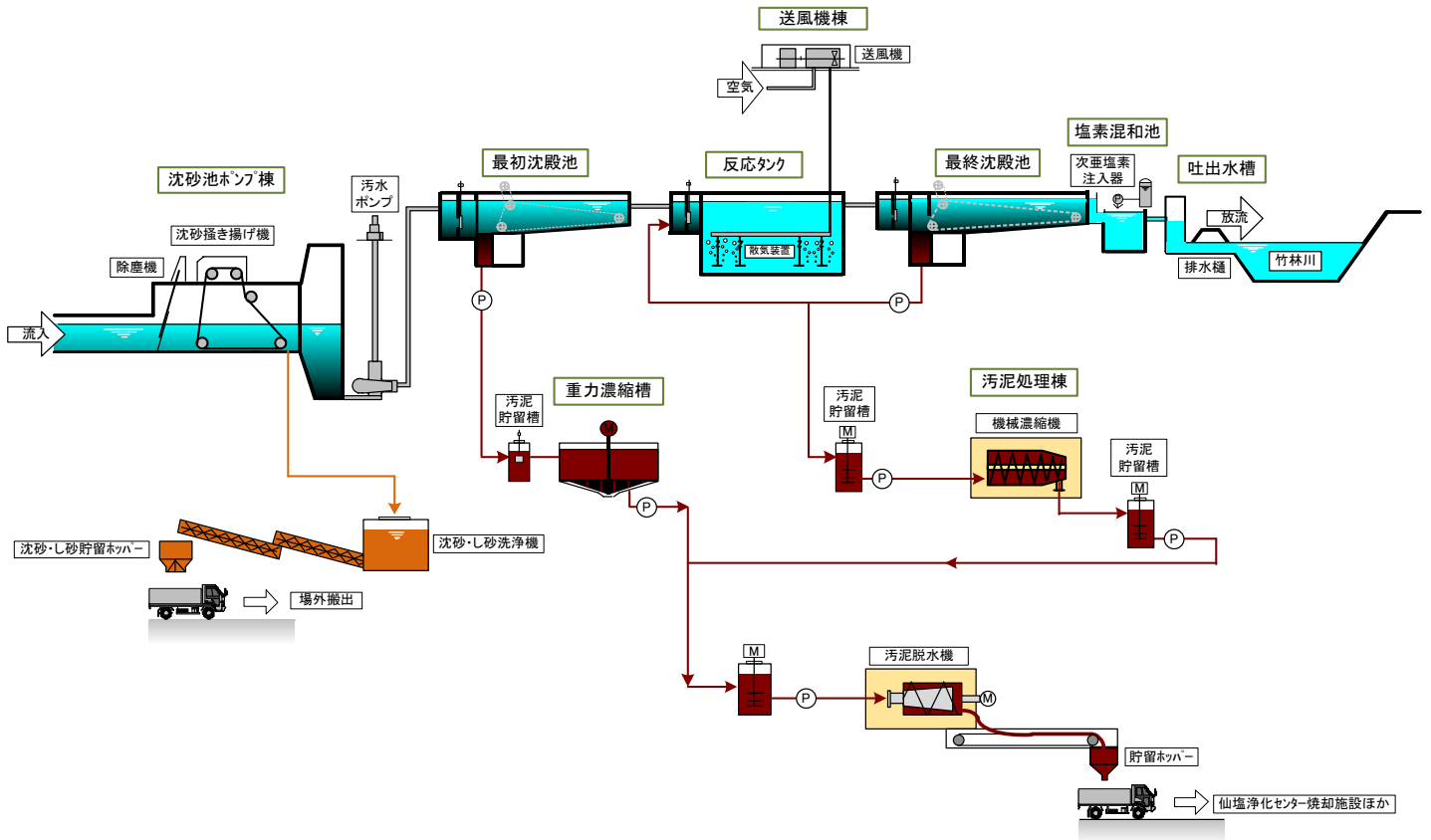
● 関連市町日平均汚水流入量（令和2年度実績）（単位：m³/日）

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
富谷市	15,302	大衡村	2,613
大和町	11,536	合計	30,736
大郷町	1,285		

● 沿革及び認可関係（令和3年3月31日現在）

事業着手年度	昭和63年度
供用開始年月日	平成4年4月1日
当初認可取得年月日	平成1年2月21日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 大和浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位：千円)

区 分		令和2年度まで
建 設 改 良 費	国庫補助金	19,153,577
	起 債	3,662,112
	他会計繰入金	2,540,733
	市町分担金	5,808,957
	そ の 他	0
	合 計	31,165,378

③ 施設の概要

施設名	吉田川流域下水道事業	
	大和浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	電気棟	1 棟
	自家発電機棟	1 棟
	沈砂池	26.68 m ³ (2 池)
	最初沈殿池	3,510 m ³
	反応タンク	14,154 m ³
	最終沈殿池	4,914 m ³
	塩素混和池	574 m ³
汚泥処理施設	重力濃縮施設	3 槽
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	海老沢ポンプ場	
	大和・富谷ポンプ場	
	大郷ポンプ場	
	大和・大衡ポンプ場	

④ 経営の状況

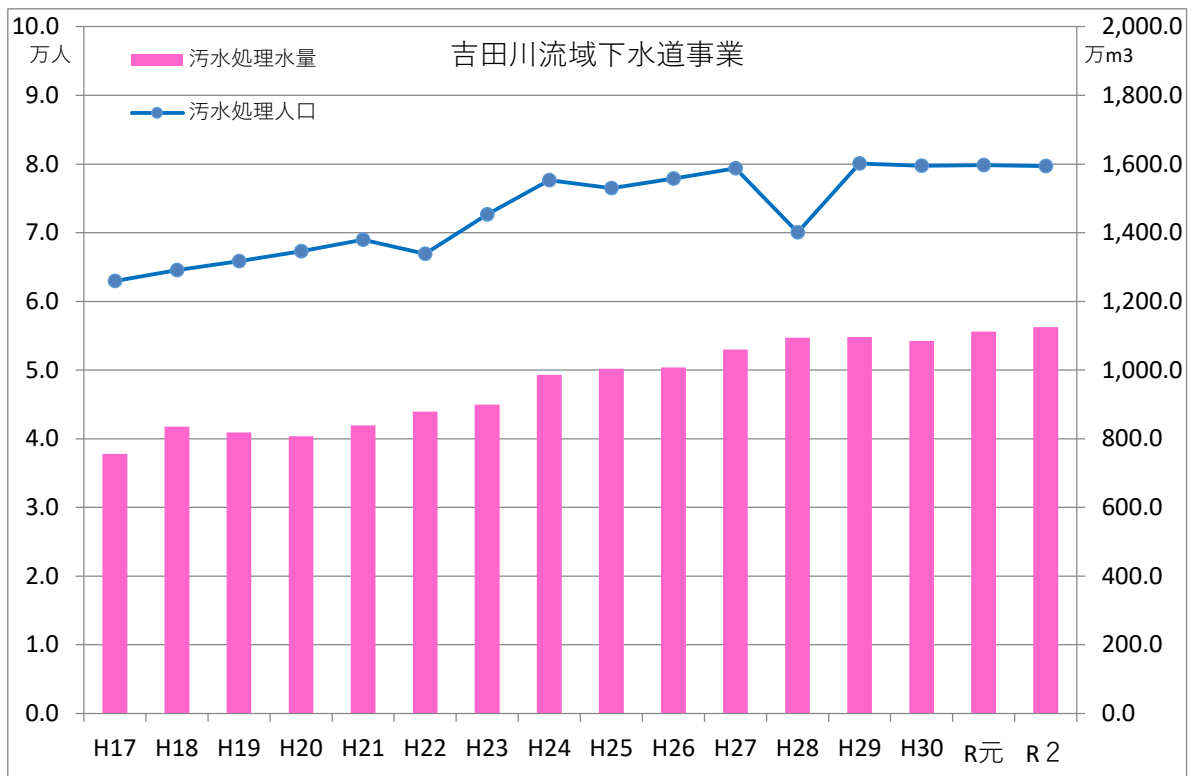
● 処理量等

年 度	H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
A 施設能力 m ³ /日	41,825	41,825	41,825	41,825	41,825
B 処理人口 人	79,738	79,860	79,717	集計中	—
C 処理水量 m ³ /年	10,906,349	11,115,675	11,249,495	11,357,847	10,957,000
D 有収水量 m ³ /年	10,906,349	11,115,675	11,249,495	11,357,847	10,957,000
E 1日平均処理量 m ³	29,881	30,454	30,736	31,117	30,019
F 1日最大処理量 m ³	41,825	41,825	41,825	41,825	41,825
G 管渠費 千円	—	2,922	35,153	20,575	43,870
H ポンプ場費 千円	—	43,831	106,453	41,360	0
I 処理場費 千円	—	537,405	547,446	634,117	2,045

※ 消費税を含む。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ H30の管渠費、ポンプ場費、処理場費は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

■ 処理人口（各年3月末日現在）及び処理量（有効水量）（各年12月末日現在）の推移



● 料金等

年 度	H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
負担金 千円	587,852	531,329	537,726	542,905	147,966
負担金単価 円/m ³	54.4	47.8	47.8	47.8	47.8
汚水処理原価 円/m ³	54.4				
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m ³	53.9				
汚水処理原価 (資本費) 円/m ³	0.5				

※ 消費税を含む。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い、R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、負担金には利用料金を含まず、単価には利用料金分を含んでいる。

● 収支状況

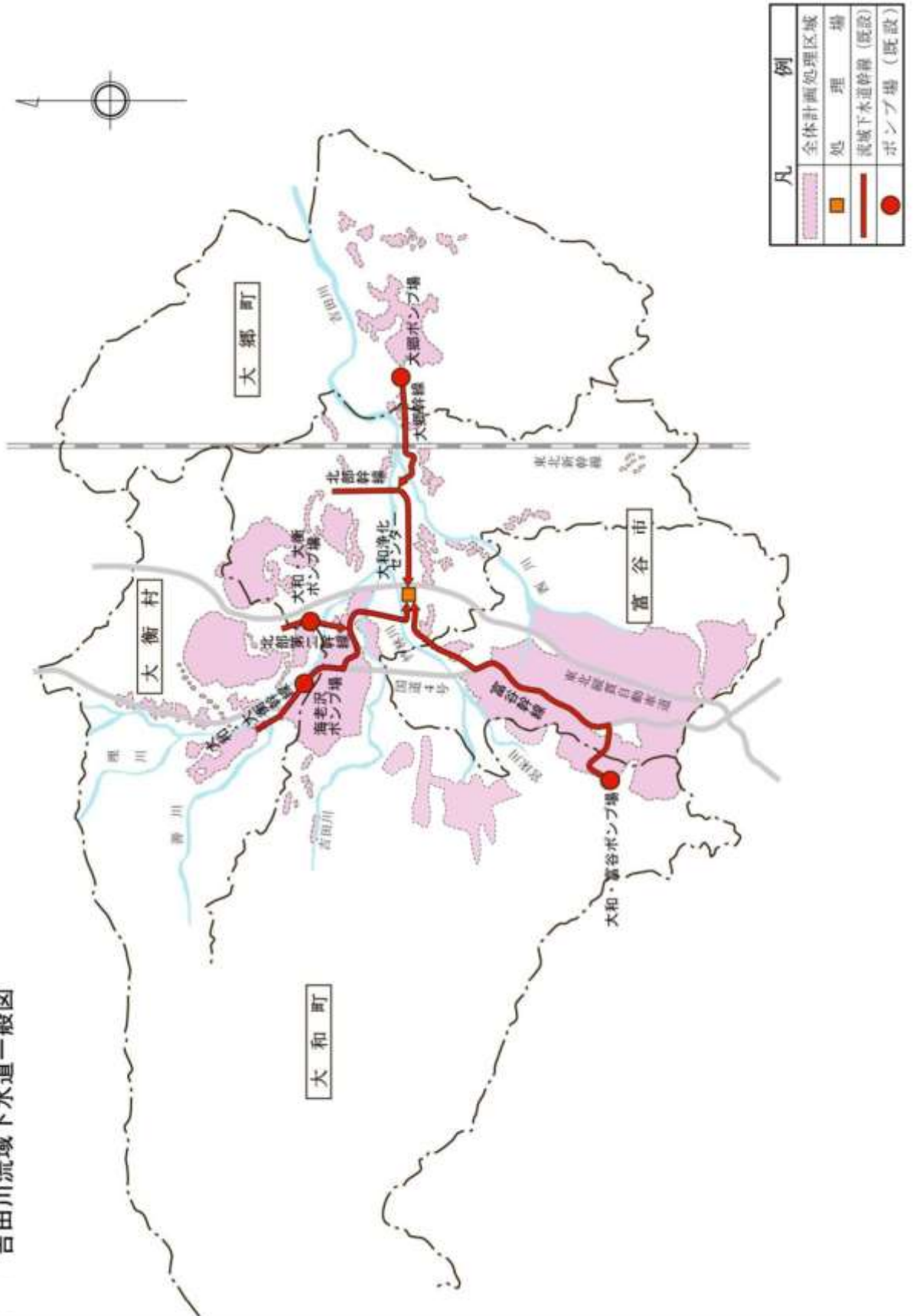
年 度		H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
収入	営業収益(除受託) 千円	-	531,329	537,726	542,905	152,966
	うち料金収入 千円	-	531,329	537,726	542,905	147,966
	営業外収益 千円	-	909,740	901,133	838,094	648,937
	特別収益 千円	-	0	67,425	49,894	26,645
	計 千円	-	1,441,069	1,506,284	1,430,893	864,548
支出	営業費用 千円	-	1,299,545	1,393,786	1,343,200	640,931
	営業外費用 千円	-	26,307	22,272	40,027	38,736
	特別損失 千円	-	2,758	105,735	70,901	35,445
	総費用(除受託) 千円	-	1,328,610	1,521,793	1,454,728	715,512
	計 千円	-	1,328,610	1,521,793	1,454,728	715,512
当年度純利益 千円		-	112,459	△15,509	△23,835	149,036

※ 消費税を含む。R元～2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、営業収益及び料金収入には利用料金は含んでいない。

吉田川流域下水道一般図



(5) 北上川下流流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、旧北上川西側に位置する2市（石巻市・東松島市）から流入する汚水を処理するものです。

平成3年度に事業に着手し、平成10年度に一部供用を開始しました。現在の管渠は27.5kmが整備され、令和2年度末の処理区域人口は93.5千人、下水道処理人口普及率は73.4%となっています。

● 令和4年度の業務予定量

関連市町村数	2市
年間処理汚水量	6,972,000 m ³
日平均処理汚水量	19,101 m ³

● 北上川下流流域計画一覧表（令和3年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	19,876ha		
処理面積	3,746.5ha	2,921.9ha	2,388.0ha
処理人口	99,000人	98,070人	93,471人
処理能力	48,500 m ³ /日	38,800 m ³ /日	38,800 m ³ /日
系列数	3	2	2
管渠延長	27,560m	27,560m	27,560m
ポンプ場	3箇所	3箇所	3箇所
計画目標年度	令和17年度	令和8年度	-

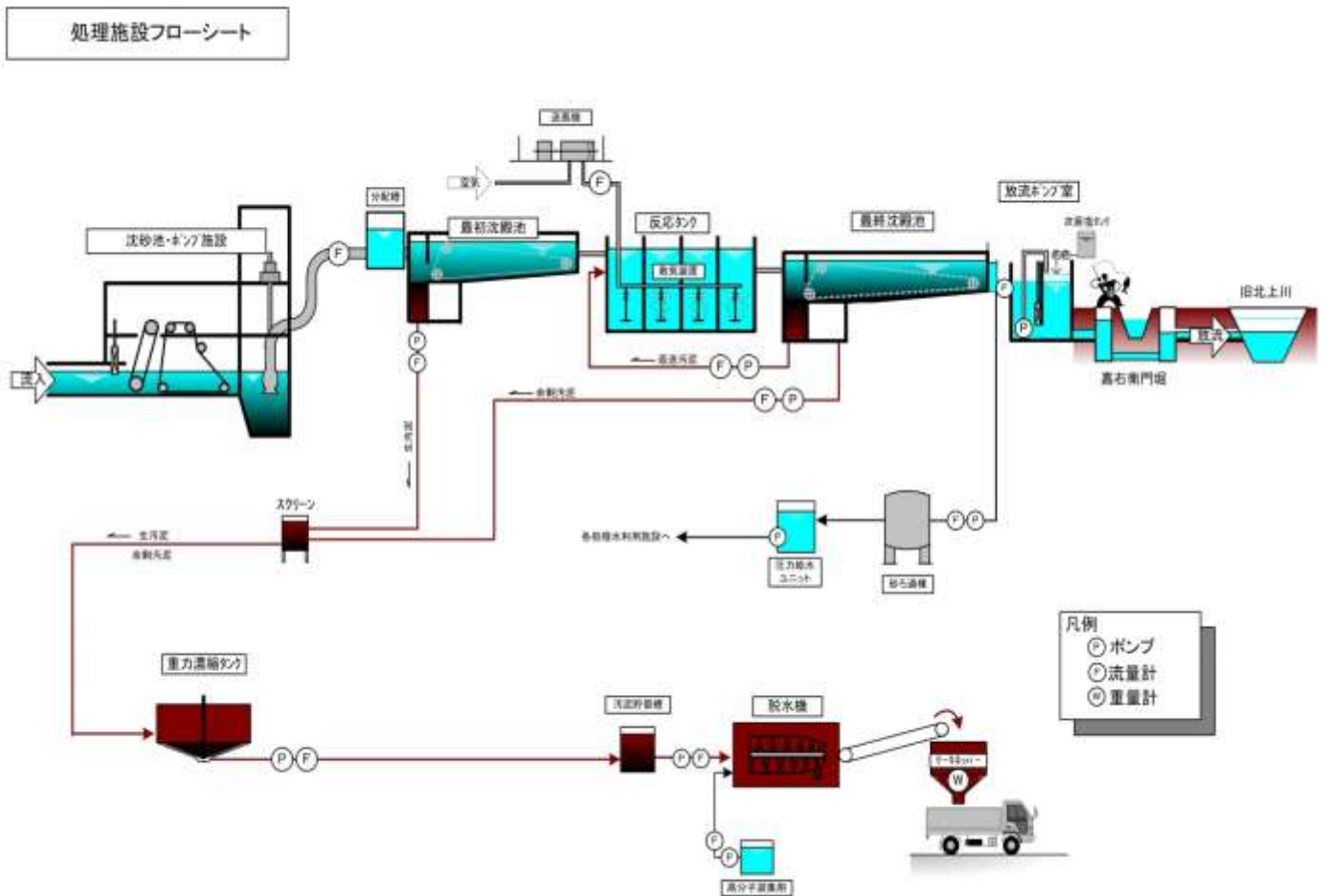
● 関連市町日平均汚水流入量（令和2年度実績）（単位：m³/日）

市町村名	汚水量
石巻市	14,124
東松島市	7,538
合計	21,662

● 沿革及び認可関係（令和3年3月31日現在）

事業着手年度	平成3年度
供用開始年月日	平成10年4月1日
当初認可取得年月日	平成4年4月13日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和9年3月31日

■ 石巻浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位：千円)

区 分		令和2年度まで
建設改良費	国庫補助金	20,108,083
	起 債	6,951,719
	他会計繰入金	1,102,064
	市町分担金	8,027,694
	そ の 他	0
	合 計	36,189,560

③ 施設の概要

施設名	北上川下流流域下水道事業	
	石巻浄化センター	
水処理施設	管理本館	1 棟
	沈砂池ポンプ棟 (送風機, 自家発電機)	1 棟
	沈砂池	巾 1.4m×長 11.5m×4 池
	最初沈殿池	1,760 m ³
	反応タンク	9,945 m ³
	最終沈殿池	4,617 m ³
	放流ポンプ棟	1 棟
汚泥処理施設	重力濃縮槽	2 槽
	重力濃縮機棟	1 棟
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	河南ポンプ場	
	鳴瀬ポンプ場	
	矢本ポンプ場	

④ 経営の状況

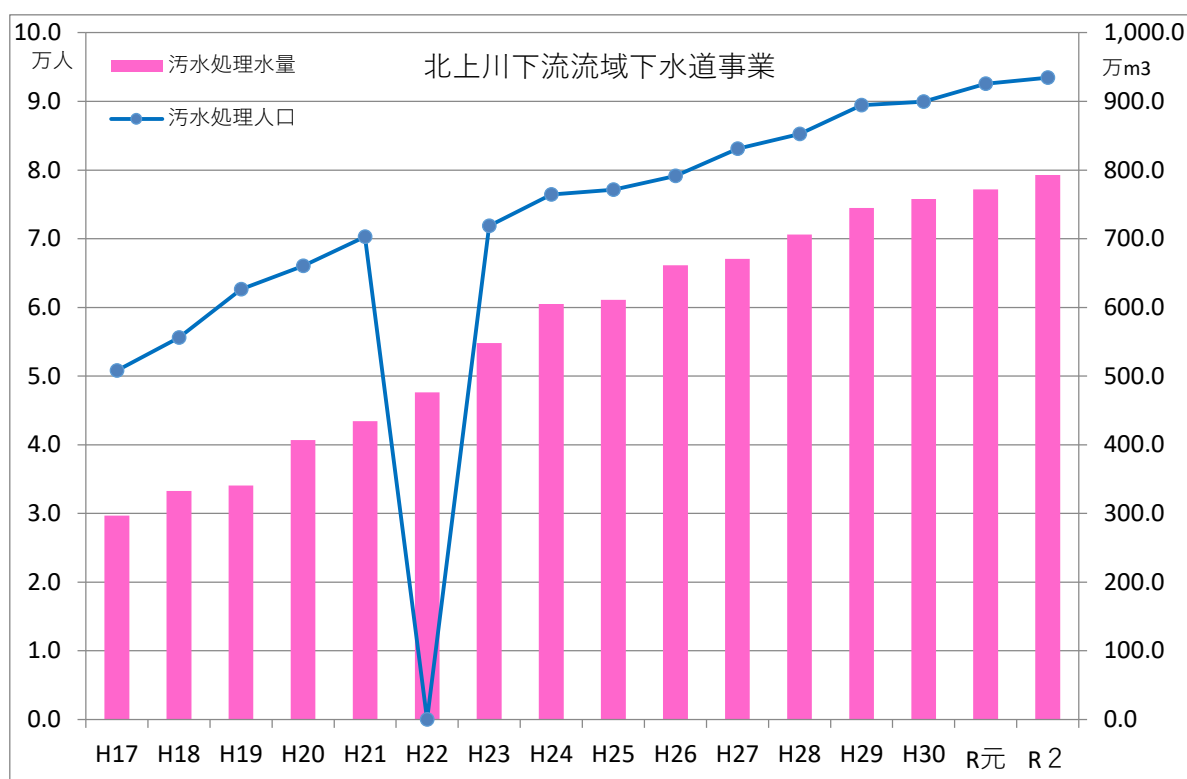
● 処理量等

年 度	H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
A 施設能力 m ³ /日	38,800	38,800	38,800	38,800	38,800
B 処理人口 人	89,970	92,548	93,471	集計中	—
C 処理水量 m ³ /年	7,574,069	7,720,018	7,928,325	8,095,737	6,972,000
D 有収水量 m ³ /年	7,574,069	7,720,018	7,928,325	8,095,737	6,972,000
E 1日平均処理量 m ³	20,751	21,151	21,662	22,180	19,101
F 1日最大処理量 m ³	38,800	38,800	38,800	38,800	38,800
G 管渠費 千円	—	5,250	15,414	14,835	19,524
H ポンプ場費 千円	—	10,447	20,894	10,607	17,329
I 処理場費 千円	—	493,510	514,160	606,827	530,879

※ 消費税を含む。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ H30の管渠費、ポンプ場費、処理場費は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

■ 処理人口（各年3月末日現在）及び処理量（有効水量）（各年12月末日現在）の推移



※ H22は東日本大震災による数値の欠測のため。

● 料金等

年 度	H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
負担金 千円	485,497	619,917	636,644	650,087	559,851
負担金単価 円/m ³	65.2				
汚水処理原価 円/m ³	65.2				
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m ³	64.1	80.3	80.3	80.3	80.3
汚水処理原価 (資本費) 円/m ³	1.1				

※ 消費税を含む。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い、R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

● 収支状況

年 度		H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
収入	営業収益(除受託) 千円	-	619,917	636,644	650,087	559,851
	うち料金収入 千円	-	619,917	636,644	650,087	559,851
	営業外収益 千円	-	973,084	1,012,340	1,030,415	1,031,285
	特別収益 千円	-	0	54,625	30,726	23,144
	計 千円	-	1,593,001	1,703,609	1,711,228	1,614,280
支出	営業費用 千円	-	1,257,438	1,279,662	1,347,197	1,292,349
	営業外費用 千円	-	74,501	64,464	78,143	70,004
	特別損失 千円	-	5,952	163,977	39,066	30,844
	総費用(除受託) 千円	-	1,337,890	1,508,103	1,464,806	1,393,497
	計 千円	-	1,337,890	1,508,103	1,464,806	1,393,497
当年度純利益 千円		-	255,111	195,505	246,422	220,783

※ 消費税を含む。R元～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。



(6) 北上川下流東部流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、旧北上川東側に位置する1市1町（石巻市・女川町）から流入する汚水を処理するものです。

平成8年度に事業着手し、平成12年度に一部供用（旧石巻市公共下水道分）を開始しました。現在の管渠は43.4kmが整備され、令和2年度末の処理区域人口は43.3千人、下水道処理人口普及率は88.6%に達しています。

● 令和4年度の業務予定量

関連市町村数	1市1町
年間処理汚水量	4,298,000 m ³
日平均処理汚水量	11,775 m ³

● 北上川下流東部流域計画一覧表（令和3年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	30,969ha		
処理面積	1,920.7ha	1,759.4ha	1,390.7ha
処理人口	31,100人	35,510人	43,260人
処理能力	16,600 m ³ /日	16,600 m ³ /日	25,300 m ³ /日
系列数	3	3	3
管渠延長	43,450m	43,450m	43,450m
ポンプ場	17箇所	17箇所	17箇所
計画目標年度	令和17年度	令和8年度	-

● 関連市町日平均汚水流入量（令和2年度実績）（単位：m³/日）

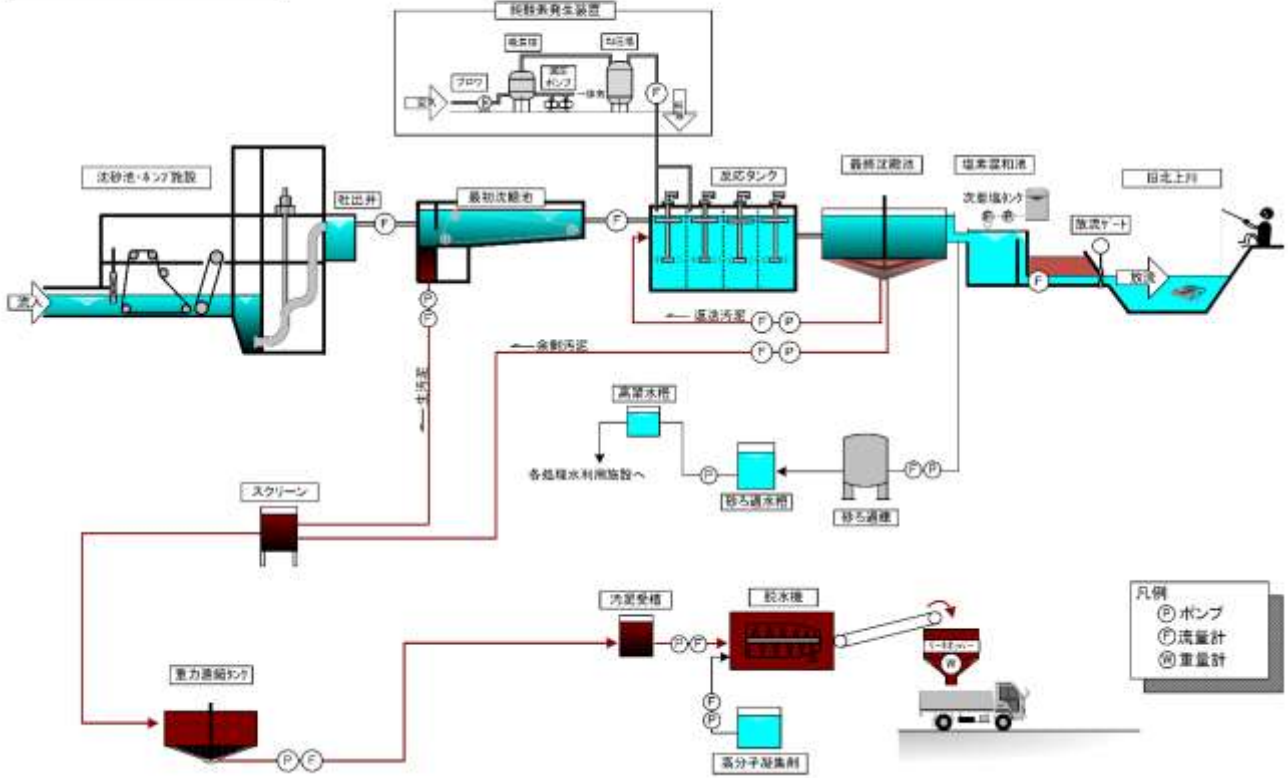
市町村名	汚水量
石巻市	10,107
女川町	1,504
合計	11,612

● 沿革及び認可関係（令和3年3月31日現在）

事業着手年度	平成8年度
供用開始年月日	平成12年4月1日
当初認可取得年月日	平成9年1月29日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和9年3月31日

■ 石巻東部浄化センター処理フロー

6. 処理施設フローシート



② 事業費

(単位：千円)

区 分		令和2年度まで
建設 改良 費	国庫補助金	11,779,352
	起債	4,941,187
	他会計繰入金	347,133
	市町分担金	5,219,160
	その他	0
	合計	22,286,832

③ 施設の概要

施設名	北上川下流東部流域下水道事業	
	石巻東部浄化センター	
水処理施設	中央管理棟・沈砂池ポンプ棟 (自家発電機)	1棟
	ポンプ棟	1棟
	水処理棟	1棟
	最初沈殿池	2,113 m ³
	反応タンク	7,382 m ³
	最終沈殿池	6,477 m ³
	砂ろ過棟	1棟
	塩素滅菌棟	1棟
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	1槽
	汚泥脱水機	2台
ポンプ場	桃生第1ポンプ場 桃生第2ポンプ場 桃生第3ポンプ場 河北第1ポンプ場 河北第2ポンプ場 河北第3ポンプ場 河北第4ポンプ場 河北第5ポンプ場 石巻第1ポンプ場 石巻第2ポンプ場 石巻第2-1ポンプ場 女川第1ポンプ場 女川第2ポンプ場 石巻第4ポンプ場 石巻第5ポンプ場 石巻第6ポンプ場	

④ 経営の状況

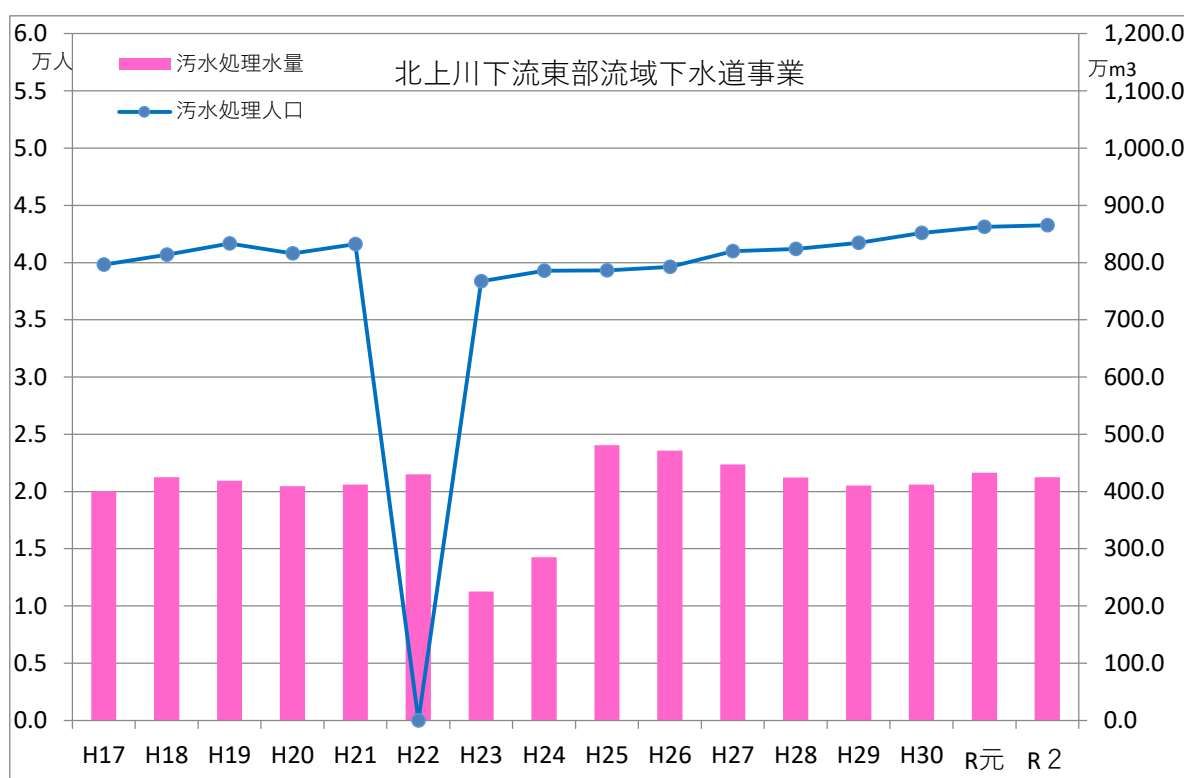
● 処理量等

年 度	H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
A 施設能力 m ³ /日	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300
B 処理人口 人	42,580	43,107	43,260	集計中	—
C 処理水量 m ³ /年	4,111,417	4,329,023	4,249,899	4,500,368	4,298,000
D 有収水量 m ³ /年	4,111,417	4,329,023	4,249,899	4,500,368	4,298,000
E 1日平均処理量 m ³	11,265	11,860	11,612	12,330	11,775
F 1日最大処理量 m ³	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300
G 管渠費 千円	—	4,858	12,092	16,900	22,079
H ポンプ場費 千円	—	73,975	64,284	84,585	51,839
I 処理場費 千円	—	422,498	457,124	486,075	474,275

※ 消費税を含む。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ H30の管渠費、ポンプ場費、処理場費は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

■ 処理人口（各年3月末日現在）及び処理量（有効水量）（各年12月末日現在）の推移



※ H22は東日本大震災による数値の欠測のため。

● 料金等

年 度	H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
負担金 千円	527,494	544,591	534,637	566,146	540,688
負担金単価 円/m ³	130.0	125.8	125.8	125.8	125.8
汚水処理原価 円/m ³	130.0				
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m ³	128.3				
汚水処理原価 (資本費) 円/m ³	1.7				

※ 消費税を含む。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い、R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

● 収支状況

年 度		H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
収入	営業収益(除受託) 千円	-	544,591	534,637	566,146	540,688
	うち料金収入 千円	-	544,591	534,637	566,146	540,688
	営業外収益 千円	-	1,496,656	1,326,843	1,168,182	1,187,001
	特別収益 千円	-	0	56,053	31,886	32,244
	計 千円	-	2,041,247	1,917,534	1,766,214	1,759,933
支出	営業費用 千円	-	1,764,182	1,691,021	1,606,571	1,612,448
	営業外費用 千円	-	67,407	63,492	65,689	71,417
	特別損失 千円	-	184,930	122,251	85,925	42,944
	総費用(除受託) 千円	-	2,016,518	1,876,764	1,758,585	1,727,109
	計 千円	-	2,016,518	1,876,764	1,758,585	1,727,109
当年度純利益 千円		-	24,729	40,770	7,629	32,824

※ 消費税を含む。R元～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。



(7) 迫川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加に伴う、ラムサール条約の指定登録地である伊豆沼をはじめとする公共用水域の水質悪化防止等を目的として、2市（栗原市・登米市）から流入する汚水を処理するものです。

平成5年度に事業着手し、平成12年7月に一部供用を開始しました。現在の管渠は55.4kmが整備され、令和2年度末の処理区域人口は28.8千人、下水道処理人口普及率は46.1%となっています。

● 令和4年度の業務予定量

関連市町村数	2市
年間処理汚水量	2,491,000 m ³
日平均処理汚水量	6,825 m ³

● 迫川流域計画一覧表（令和3年3月31日現在）

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	58,239ha		
処理面積	2,186.7ha	1,795.5ha	1,452.9ha
処理人口	24,400人	26,163人	28,754人
処理能力	14,475 m ³ /日	14,475 m ³ /日	9,650 m ³ /日
系列数	3	3	2
管渠延長	55,470m	55,470m	55,470m
ポンプ場	10箇所	10箇所	10箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

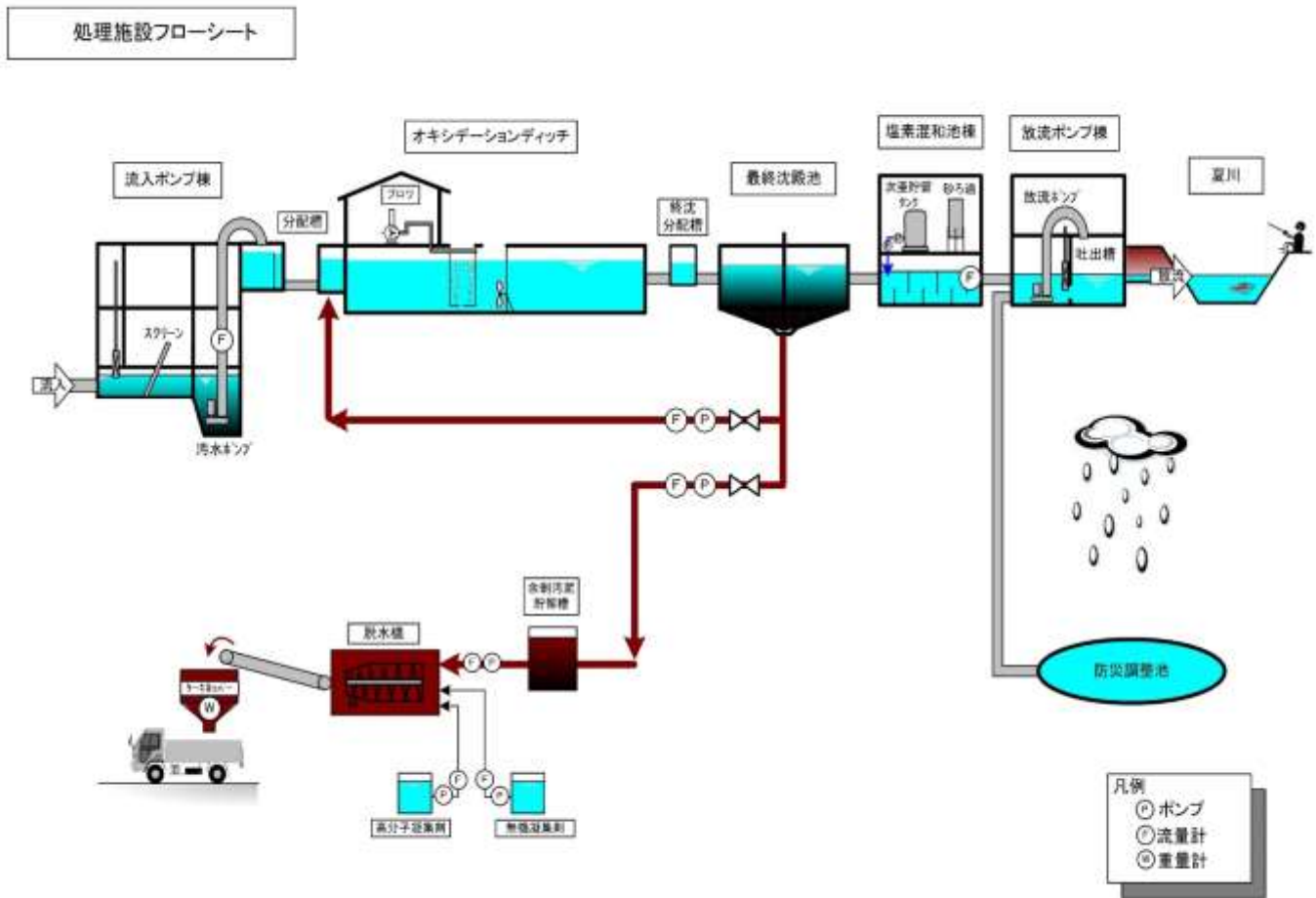
● 関連市日平均汚水流入量（令和2年度実績）（単位：m³/日）

市町村名	汚水量
登米市	451
栗原市	6,432
合計	6,883

● 沿革及び認可関係（令和3年3月31日現在）

事業着手年度	平成5年度
供用開始年月日	平成12年7月1日
当初認可取得年月日	平成5年12月9日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 石越浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位：千円)

区 分		令和2年度まで
建設改良費	国庫補助金	18,082,211
	起 債	7,376,647
	他会計繰入金	947,735
	市町分担金	8,080,964
	そ の 他	0
	合 計	34,487,557

③ 施設の概要

施設名	迫川流域下水道事業	
	石越浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	流入ポンプ棟	1 棟
	オキシデーションディッチ	9,716 m ³
	最終沈殿池	4 池
	塩素混和池棟	1 棟
	放流ポンプ棟	1 棟
汚泥処理施設	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	若柳第 1 ポンプ場	
	若柳第 2 ポンプ場	
	若柳第 3 ポンプ場	
	志波姫ポンプ場	
	一迫ポンプ場	
	金成第 1 ポンプ場	
	金成第 2 ポンプ場	
	栗駒第 1 ポンプ場	
	栗駒第 2 ポンプ場	
	栗駒第 3 ポンプ場	

④ 経営の状況

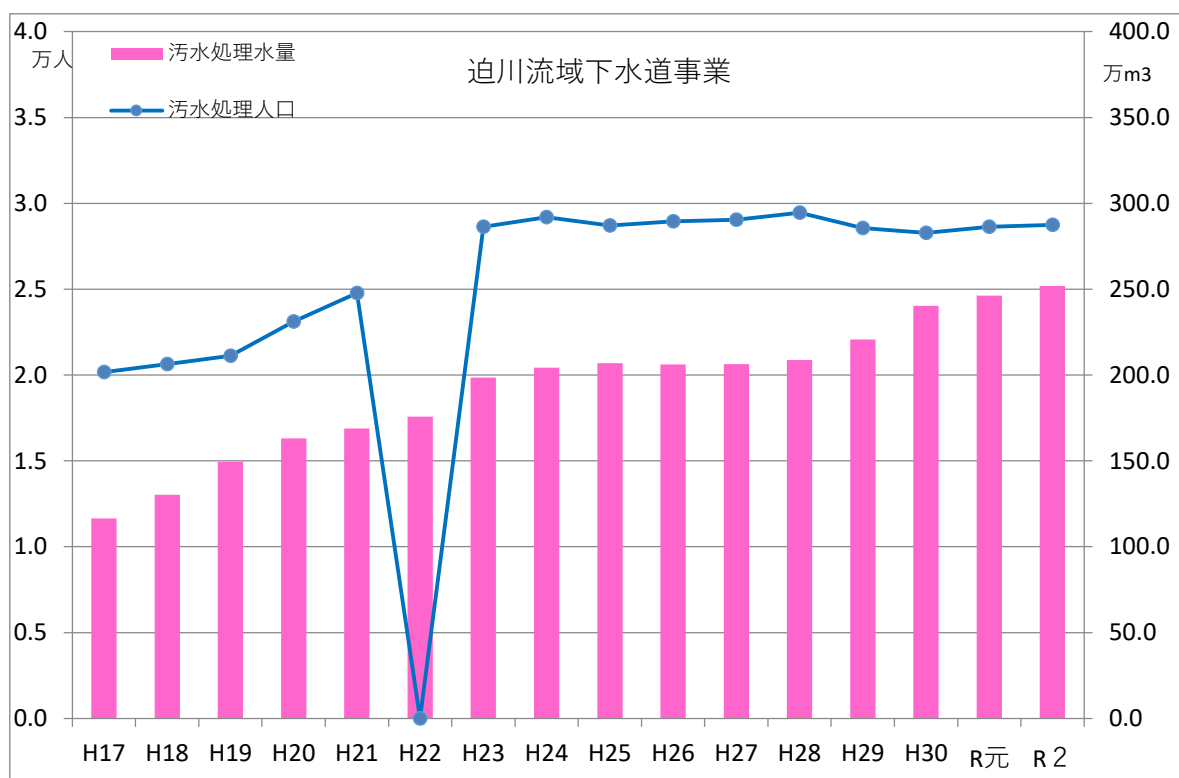
● 処理量等

年 度	H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
A 施設能力 m ³ /日	9,650	9,650	9,650	9,650	9,650
B 処理人口 人	28,275	28,642	28,754	集計中	—
C 処理水量 m ³ /年	2,381,171	2,462,936	2,519,068	2,538,135	2,491,000
D 有収水量 m ³ /年	2,381,171	2,462,936	2,519,068	2,538,135	2,491,000
E 1日平均処理量 m ³	6,524	6,748	6,883	6,954	6,825
F 1日最大処理量 m ³	9,650	9,650	9,650	9,650	9,650
G 管渠費 千円	—	6,459	3,838	10,982	9,368
H ポンプ場費 千円	—	57,077	49,226	73,630	43,348
I 処理場費 千円	—	242,332	200,675	216,220	242,786

※ 消費税を含む。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ H30の管渠費、ポンプ場費、処理場費は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

■ 処理人口（各年3月末日現在）及び処理量（有効水量）（各年12月末日現在）の推移



※ H22は東日本大震災による数値の欠測のため。

● 料金等

年 度	H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
負担金 千円	313,600	313,600	334,280	336,810	330,555
負担金単価 円/m ³	132.7				
汚水処理原価 円/m ³	132.7				
汚水処理原価 (維持管理費) 円/m ³	131.7	132.7	132.7	132.7	132.7
汚水処理原価 (資本費) 円/m ³	1.0				

※ 消費税を含む。H30～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ 公営企業会計移行に伴い、R元から資本費を維持管理費に含めて算定。

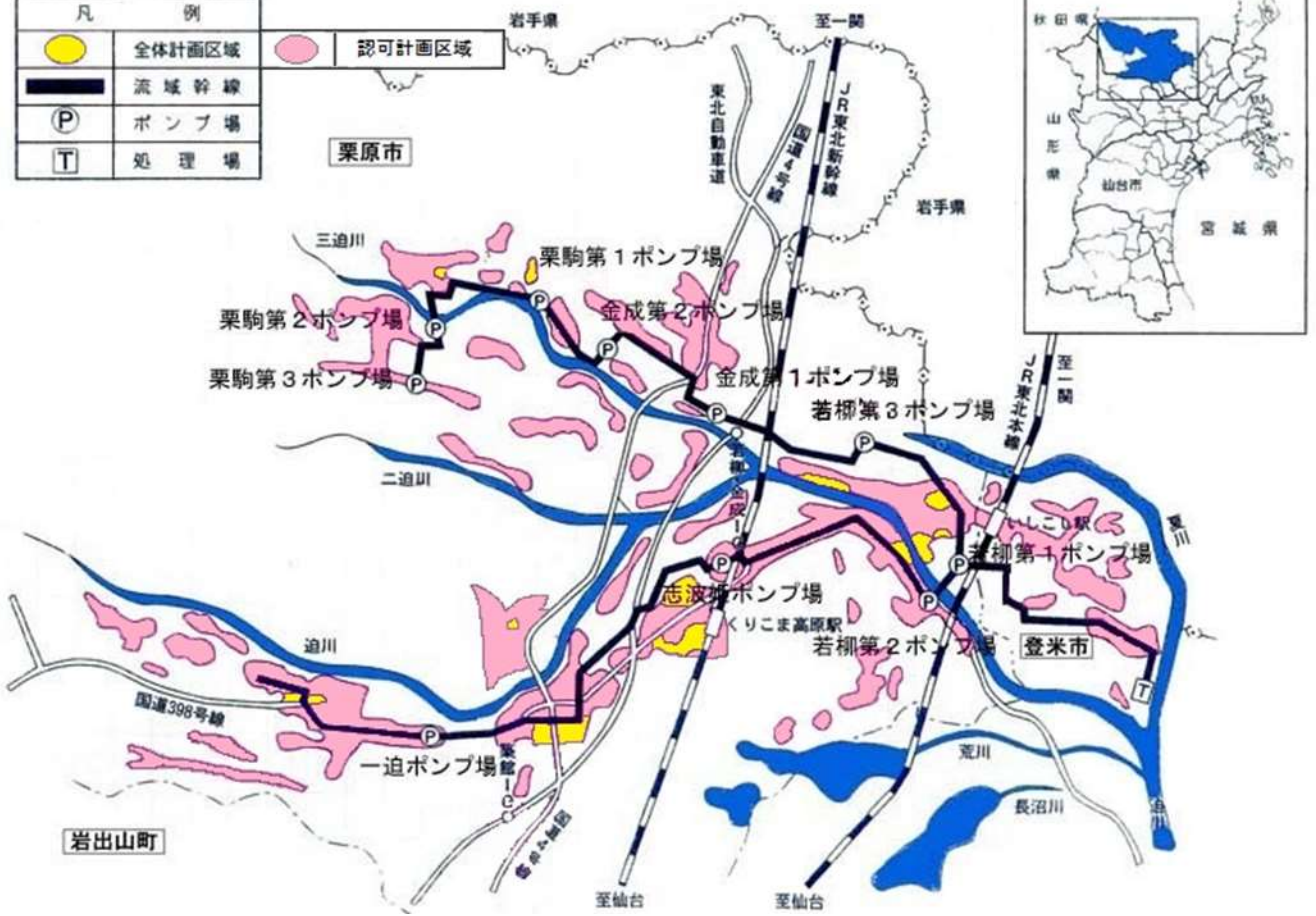
● 収支状況

年 度		H 30	R 元	R 2	R 3	R 4
収入	営業収益(除受託) 千円	-	326,831	334,280	336,810	330,555
	うち料金収入 千円	-	326,831	334,280	336,810	330,555
	営業外収益 千円	-	1,037,741	1,000,659	954,592	940,225
	特別収益 千円	-	0	65,134	85,642	30,380
	計 千円	-	1,364,572	1,400,073	1,377,044	1,301,160
支出	営業費用 千円	-	1,158,666	1,076,817	1,012,304	993,231
	営業外費用 千円	-	60,787	54,787	63,094	57,749
	特別損失 千円	-	1,715	100,076	115,640	40,480
	総費用(除受託) 千円	-	1,221,167	1,231,680	1,191,338	1,091,660
	計 千円	-	1,221,167	1,231,680	1,191,338	1,091,660
当年度純利益 千円		-	143,405	168,393	185,706	209,500

※ 消費税を含む。R元～R2は決算ベース、R3は最終現計予算ベース、R4は当初予算ベースで作成。

※ H30は公営企業会計適用前のため、集計値無し。

凡 例	
	全体計画区域
	認可計画区域
	流域幹線
	ポンプ場
	処理場





宮城県企業局